

学長定例記者会見要項

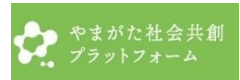
日 時： 令和6年11月7日（木） 11:00～11:45
場 所： 法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

発表事項

1. 山形大学と東日本電信電話株式会社が連携協定を締結
～地域のデジタルイノベーションを目指して～
2. 市民公開講演会「重粒子線がん治療の実際と今後の可能性」in 山形市
3. 山形県初、地球深部探査船「ちきゅう」との衛星中継での市民公開教室が11月24日（日）開催決定
IODP 第405次研究航海「東北地方太平洋沖地震」の解明にむけての最先端研究の様子を紹介
4. 旧済生館本館3・4階のバーチャル見学が可能に！
～山形大学と山形市が連携してバーチャル見学動画・ツアーを作成～
5. Rethink トングを使用した学習会とゴミ拾い活動を実施します～IoTを活用した新たなゴミ拾い活動～

山形大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています
6. 第52回山形大学模擬裁判公演のお知らせ～「特殊詐欺」、日常に潜む危険に警鐘を鳴らす～
7. 「樹氷マイスター」の第一期生が誕生しました～ 樹氷についての正しい知識・情報を伝承する ～

お知らせ

1. やまがた進学大交流フェスタ 2024 in 新庄 ～保護者と考える県内進学・就職～

やまがた社会共創プラットフォーム
2. 「庄内スマート・テロワール 豊穡感謝祭 2024」を開催します

YAMAGATA UNIVERSITY
ADVANCED AGRI-FOOD SYSTEM
RESEARCH CENTER
3. 青山千紘&渋谷穂香ピアノデュオリサイタルの開催のお知らせ
—令和6年度学生チャレンジプロジェクト採択事業—
4. 学生チャレンジプロジェクト「エコ×ウェアプロジェクト」
5. 「スライムマイスター養成講座（初級）」を開催
6. 「「もののあはれ」の世界へようこそ！2 もっと知りたい『源氏物語』」を開講
します～エクステンションぷらす 2024winter～

Yamagata University
Extension service
organization
7. 「山形に根付く法学の血脈」を開講します～エクステンションぷらす
2024winter～

Yamagata University
Extension service
organization
8. 「文字！もじ！モジ！～文字とはなにものぞ～」～文字はもじでもモジではない！文字から日本文化
の特性について考える企画展～
9. 第7回学びのフォーラムを開催します—今年度で10年目になりました—

（参 考）

○ 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時：令和6年12月5日（木） 11:00～11:45
場 所：法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

学長定例記者会見（11月7日）発表

1. 山形大学と東日本電信電話株式会社が連携協定を締結

～地域のデジタルイノベーションを目指して～

学 長

理事（教育担当）・副学長

東日本電信電話株式会社山形支店 支店長

たまたま ひでとし
玉手 英利
でぐち たけし
出口 毅
おざわ かずひと
小澤 一仁

2. 市民公開講演会「重粒子線がん治療の実際と今後の可能性」in 山形市

山形大学医学部東日本重粒子センター長

大学院医学系研究科先進的医科学専攻／重粒子線医学講座教授

いらい たけお
岩井 岳夫

3. 山形県初、地球深部探査船「ちきゅう」との衛星中継での市民公開教室が11月24日（日）開催決定

IODP 第405次研究航海「東北地方太平洋沖地震」の解明にむけての最先端研究の様子を紹介

学術研究院 講師（地域教育文化学部主担当）

たけばやし ともひろ
竹林 知大

4. 旧済生館本館3・4階のバーチャル見学が可能に！

～山形大学と山形市が連携してバーチャル見学動画・ツアーを作成～

学術研究院 准教授（人文社会科学部主担当）・附属博物館学芸研究員

山形市文化スポーツ部文化創造都市課課長補佐（兼）文化財係長

おばた けいすけ
小幡 圭祐
さいとう ひとし
齋藤 仁

5. Rethink トングを使用した学習会とゴミ拾い活動を実施します

～IoTを活用した新たなゴミ拾い活動～

学術研究院 教授（理学部主担当）

日本たばこ産業株式会社 山形支社 支社長



くりやま やすなお
栗山 恭直
ふじい さおり
藤井 早央里

6. 第52回山形大学模擬裁判公演のお知らせ～「特殊詐欺」、日常に潜む危険に警鐘を鳴らす～

第52代模擬裁判実行委員会 委員長／人文社会科学部人文社会学科3年

第52代模擬裁判実行委員会 脚本部門長／人文社会科学部人文社会学科3年

第53代模擬裁判実行委員会 委員長／人文社会科学部人文社会学科2年

まつい ともや
松井 友哉
にしやま かんた
西山 幹太
むらかみ しおん
村上 紫音

7. 「樹氷マイスター」の第一期生が誕生しました～ 樹氷についての正しい知識・情報を伝承する ～

山形大学名誉教授／樹氷の会 会長

樹氷の会 事務局長 山形市立第四中学校 教諭

やなぎさわ ふみたか
柳澤 文孝
どもん なおこ
土門 直子



令和6年（2024年）11月7日

山形大学とNTT東日本が連携協定を締結 ～地域のデジタルイノベーションを目指して～

【本件のポイント】

- 令和7（2025）年4月に設置する大学院理工学研究科 数理情報システム専攻において、相互の連携により実践的な教育研究を行い、高度情報専門人材を育成することを目的に山形大学と東日本電信電話株式会社（以下「NTT東日本」）が連携協定を締結
- 互いに連携・協働することで、地域のデジタルイノベーションの推進につながることを期待



【概要】

山形大学は、令和7（2025）年4月に大学院理工学研究科数理情報システム専攻を設置し、情報科学や数理・データサイエンスの深い専門知識を修得し、リアル空間とサイバー空間の融合領域技術を活用した社会課題の解決をリードする高度情報専門人材を養成することとしている。

そこで、社会課題と結びついた実践的な教育研究の実施体制を構築するため、光回線サービスを中心とするネットワークサービスの提供に加え、AIやIoTといったデジタル技術を活用した地域課題の解決に取り組み、更には「地域の未来を支えるソーシャルイノベーション企業」として地方創生や新たな価値創造などにもチャレンジするNTT東日本とデジタルイノベーションに関する連携協定を締結する。本分野の連携協定は、山形県情報産業協会、山形新聞社（5G・IoT・AIコンソーシアム事務局）、山形銀行に次いで4例目となる。

今後の具体的な活動として、実務家教員の派遣、インターンシップの受入れに加え、教育分野におけるDXの推進、情報通信技術やデジタル技術の共同研究を開始する。学術的観点と実務的観点が融合し、両者のフィールドを活かした取り組みを連携して進めることで、大学院修了後、即戦力としての学生の活躍が期待できる。

【連携協定の内容】

- 協定の名称： 東日本電信電話株式会社と国立大学法人山形大学とのデジタルイノベーションに関する連携協定書
- 締結年月日： 令和6（2024）年11月7日
- 期 間： 令和11（2029）年11月6日まで（更新あり）
- 目 的： 東日本電信電話株式会社及び山形大学が相互の連携と協力により、それぞれが有する人的・物的・知的資源を有効に活用して、地域のデジタルイノベーションを推進すること
- 連携内容： (1) 実務家教員の派遣に関すること
(2) インターンシップの受入れに関すること
(3) 社会人教育に関すること
(4) 共同研究の推進に関すること
(5) 地域のデジタルイノベーション推進に関すること
(6) 教育DX推進に関すること
(7) その他、双方が協議の上、同意した取組みに関すること

【新専攻の概要】

- 専攻名称： 大学院理工学研究科 博士前期課程 数理情報システム専攻
- 設置時期： 令和7（2025）年4月
- 入学定員： 88名
- 設置場所： 米沢キャンパス（山形県米沢市）及び小白川キャンパス（山形県山形市）

お問い合わせ

国立大学法人山形大学 企画・戦略室長 内藤

電話 023-628-4190 メール yu-kikair@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

東日本電信電話株式会社 山形支店 広報担当

電話 023-621-9521（平日 9:00-17:30）メール yama-kouhou@east.ntt.co.jp



山形大学における 地域のデジタルイノベーション 推進に向けた取組み

国立大学法人山形大学

高度情報専門人材の確保に向けた機能強化

支援2 高度情報専門人材の確保に向けた機能強化の構想について

令和6年度 大学(一般枠) 山形大学



事業計画名 山形大学における地域のデジタルレノベーションを加速する循環教育モデルの確立

基本情報

改組内容	研究科等の設置・増員+学部等の設置・増員
所在地	[修士]山形県米沢市、山形県山形市 [学士]山形県山形市
増員する情報系組織名(修士)	理工学研究科数理情報システム専攻
入学定員増数及び増員時期(修士)	20名(R7)
増員する情報系組織名(学士)	社会共創デジタル学環(学部等連係課程実施基本組織)
入学定員増数及び増員時期(学士)	30名(R7)

※令和6年度～15年度にかけて760,000,000円助成

<社会や地域のニーズ・課題>

- 山形県は人口減少率が全国で4番目に高く、今後の産業振興に必要な人材を確保するためにはデジタルの力を活用することは必須。野村総合研究所による社会のデジタル度を可視化する指標(DCISコア)で、2022年度山形県は全国44位とデジタル化が遅れている。
- 5G・IoT・AIコンソーシアム(山形県内44の団体・情報関係企業で設立)にデジタル化の課題について調査したところ、デジタル人材の不足を掲げる企業が圧倒的に多い。データサイエンス、サイバーセキュリティ等情報科学の知識・プログラム開発能力といった専門知識だけでなく、課題の発掘、提案・解決能力まで持った人材を求めている。
- 地域のDX化を推進するために、山形県と連携協定を締結した。(R5.2.17)

<研究科等の体制強化の概要・コンセプト・特徴など>

- 学士課程から大学院課程まで一貫した方針の基で情報人材の育成、地域のデジタルニーズの集約・課題解決を継続して行うために、学長をトップとする「デジタル共創推進本部」を設置する。また、産学官の有識者による外部評価を実施する。
- 数理情報システム専攻は、全学の情報系教員を集約し39名の専任教員体制でスタートした後、実務家教員を含め新たに8名の専任教員を雇用し、体制を強化する。
- 山形県全域でのDX推進のため、山形市・米沢市の2拠点でオンラインを活用した教育を行う。
- 数理情報システム専攻への進学者拡大のために、学部等連係課程として「社会共創デジタル学環」を設置する。

<教育内容・育成する人材像>

- 「数理情報システム専攻」では、情報科学や数理・データサイエンスの深い専門知識、電気情報システムの専門技術を身に付け、次世代の情報産業およびその基盤技術を構築できる人材やデジタル技術によりサイバー空間とフィジカル空間を融合させ社会的課題を解決に導く人材を養成する。
- 教育課程の編成・実施の方針に基づき体系的なカリキュラムを編成し、特に、高度専門科目Ⅰとして、社会のニーズを踏まえた実務家教員等によるオムニバス講義「数理情報システム特論」、従来のインターンシップと異なり企業担当者の指導のもとでの課題解決型の「高度情報インターンシップ」を開講する。

<初中段階・他大学・高専・企業・自治体等との連携>

- 山形県内高校でのプログラミング出張授業を実施する。また、デジタルチャレンジ特待生を活用した県内高校への情報教育支援を行う。
- 高専専攻科からの成績優秀者を対象とした本学独自の奨学金制度(デジタルチャレンジ特待生・高専枠)を構築する。高専専攻科生のインターンシップ受入、授業科目の共同開講を行う。
- 「5G・IoT・AIコンソーシアム」加盟機関と協定を締結し、新専攻の主要授業科目である「高度情報インターンシップ」「数理情報システム特論」を開講する。

<女子学生、社会人学生、留学生等の確保>

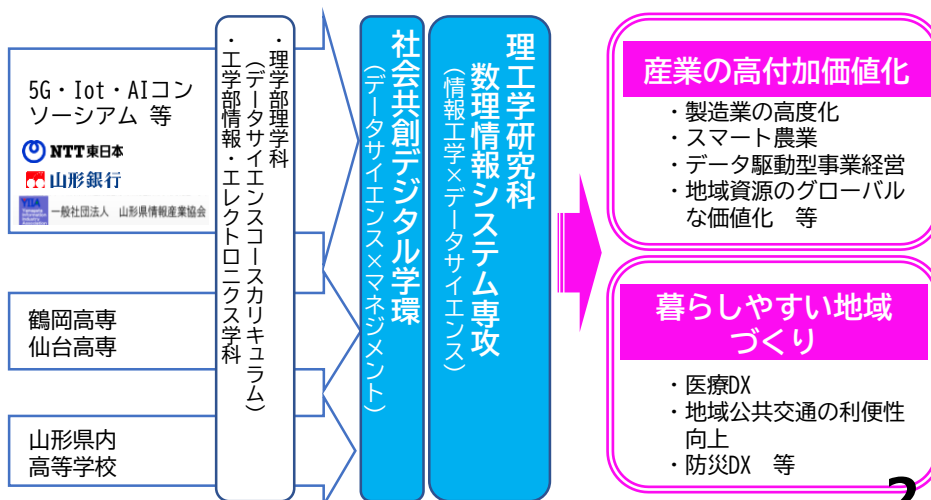
- 山形西高等学校(県内進学校で唯一の女子高)をはじめ山形県内進学校における、山形大学女性大学院生ネットワーク(JOIN)等を活用した出張講義、ワークショップを毎年度実施する。
- 平日以外に受講できる教育環境を整備する。5G・IoT・AIコンソーシアム加盟機関との協定締結により社会人を受入れる体制を整備する。企業から新専攻への社会人学生派遣の呼び水とするために、産学連携による共同リカレント講座を開講する。
- 国費留学生推薦入試および私費外国人留学生入学試験制度の利用による留学生を確保する。

フェーズ1 (R6-R10)

関係機関と連携し安定的に高度情報専門人材を養成するシステムを確立

フェーズ2 (R11-R15)

社会ニーズに応じた地域のデジタルイノベーションを加速



数理情報システム専攻の設置

< 社会ニーズ >

- ① 次世代の情報産業およびその基盤技術の構築、およびサイバー・フィジカル融合を促進する情報創成人材の育成
- ② 地域産業のデジタル化支援及び人材育成：地域の産業界と連携したデジタル化の導入をけん引する高度情報専門人材の育成
- ③ 教育研究機関との連携：地域の初等中等機関、高専、他大学などと連携したデジタル教育の推進やデジタルリテラシーの向上
- ④ 地域の公共サービスのデジタル化や持続可能な開発への貢献

統合・拡充 入学定員88名

理学専攻
データサイエンス領域
(小白川)

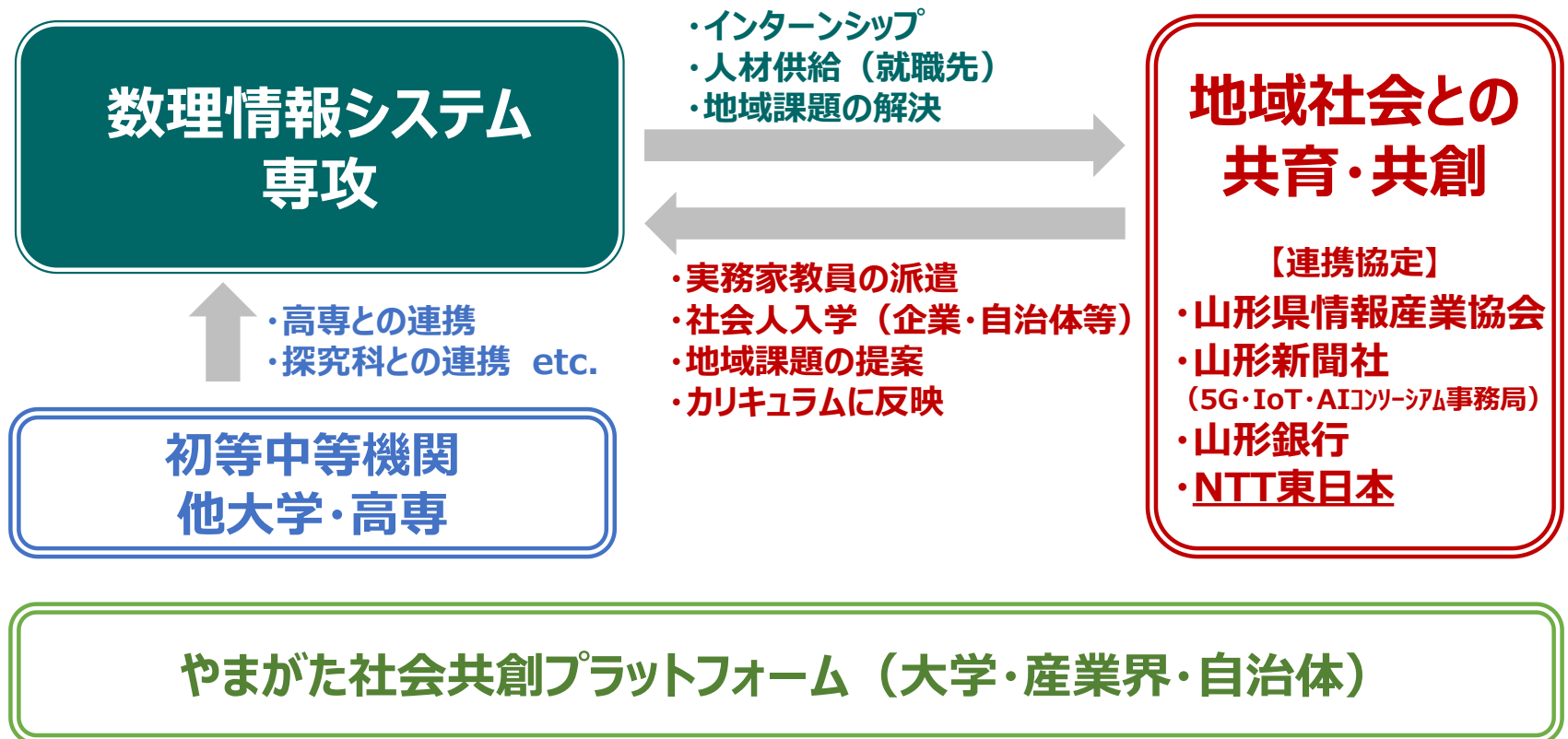


情報・
エレクトロニクス専攻
(米沢)

学内の情報の知を総結集し、情報に特化した新たな専攻を設置

地域との共育・共創で育てるデジタル人材

地域の企業・自治体等と連携した実践的教育で、デジタル人材の地域定着をすすめる



具体的な連携活動



- ✓ 実務家教員の派遣（オムニバス形式の授業担当予定）
- ✓ 大学院生のインターンシップ受け入れ
- ✓ 教育DXに関する先進的取組みの情報収集・事例紹介
- ✓ 共同研究・研究交流（研究会、可能性検証）

PRESS RELEASE



山形大学
Yamagata University

令和6年（2024年）11月7日

市民公開講演会

「重粒子線がん治療の実際と今後の可能性」 in 山形市

～ 山形大学医学部東日本重粒子センター ～



【本件のポイント】

- 山形大学医学部東日本重粒子センターでは、2021年2月に重粒子線の照射による前立腺がんの治療を開始しました。その後、徐々に治療対象疾患を増やし、2022年10月からは、17疾患の治療を行っております。（うち11疾患が公的医療保険適用）
- 治療実績は、1,898人（2021年2月～2024年9月までの累積患者数）です。
- 当センターでは、重粒子線治療が東北全体の患者さんにとってがん治療の選択肢の一つとなり、治療の選択肢が広がればと、県内外において周知活動を展開しており、その一環として公開講演会を開催しております。
- 今回は、公益財団法人医用原子力技術研究振興財団との共催により、山形テルサにて市民公開講座「重粒子線がん治療の実際と今後の可能性」を開催する運びとなりました。当日は7月に山形大学医学部放射線医学講座放射線腫瘍学分野教授に就任した小藤昌志による基調講演、及び日本海総合病院、山形市立病院済生館の先生方との臓器別シンポジウムを行います。

【開催概要】

日 時：令和6年 12月 15日（日）13：30～16：00 終了予定（開場13：00）

会 場：山形テルサ「テルサホール」 山形市双葉町1-2-3

定 員：400人（予定）

参加費：無料ですが、事前申込が必要です

対 象：一般の方々

【参加申込方法】

インターネットまたはお電話

申込受付：10月23日（水）から

締め切り：12月 4日（水）

<インターネットの場合>

以下URL（特設ウェブサイト）もしくはQRコードからお申込みください

URL：<https://www.yamagata-np.jp/ad/heavyion/>



お申込みを頂いた方にはメールで入場用QRコードをお送りいたします

※ご同行の方がいらっしゃる場合も、それぞれお申込みください

山形大学医学部東日本重粒子センターのHPからも申込みフォームに入ることができます。

<お電話の場合>

重粒子線がん治療市民公開講演会係（山形新聞社広告局内）

TEL.023-664-0295（平日10:00~17:00）

下記の項目についてお聞きします

①お名前 ②よみがな ③郵便番号 ④住所 ⑤電話番号（緊急連絡先） ⑥性別 ⑦年齢 ⑧職業

お申込みを頂いた方には入場用はがきをお送りいたします

※ご同行の方がいらっしゃる場合も、それぞれお申込みください

【主催・共催・後援】

共同主催：公益財団法人 医用原子力技術研究振興財団、国立大学法人 山形大学

共 催：株式会社 山形新聞社

後 援：文部科学省、厚生労働省、国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構、
公益財団法人 日本対がん協会、公益社団法人 日本放射線腫瘍学会、山形県、
山形県医師会、山形市、東北がんネットワーク、東北広域次世代がんプロ養成プラン

【重粒子線がん治療とは】

- ✧ 放射線治療の一つで、大型の加速器で加速した炭素の原子核を体外からがん細胞に照射してがん細胞のDNAを破壊し、治療する先端的ながん治療法です。
- ✧ 通常のX線による放射線治療と比較して、がん細胞に線量を集中させやすく、がん細胞を殺す効果がきわめて強いことが特長で、がんの根治的治療に適した治療法です。治療期間も短く、副作用も比較的軽いため、高齢の患者さんを中心に多くの患者さんが東北地方全体から来院しています。
- ✧ 大型で高額な治療装置を必要としており、東北・北海道では、山形大学でのみ実施しています。

当日、取材をご希望の場合は、別紙にてお申込みください。

お問い合わせ

山形大学医学部東日本重粒子センター事務局

電 話：023-628-5576

e-mail：yu-heavyion@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

URL：<https://www.id.yamagata-u.ac.jp/nhpb/>



山形大学医学部

東日本重粒子センター

EAST JAPAN HEAVY ION CENTER

FACULTY OF MEDICINE - YAMAGATA UNIVERSITY

山形大学医学部東日本重粒子センター 行

(e-mail : yu-heavyion@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

市民公開セミナー

「重粒子線がん治療の実際と今後の可能性」 in 山形市

【令和6年12月15日（日）開催】

社名

担当者名

電話番号

※開催日当日（日曜日）に連絡のつく携帯電話の番号等をご記入ください。

出席人数

テレビカメラの有無 有 ・ 無

取材を希望する時間帯に ○ をつけてください。

	13 : 30- 14 : 20	第Ⅰ部（基調講演、治療実績報告）
	14 : 35- 16 : 00	第Ⅱ部（臓器別シンポジウム）

12月13日（金）17時までに送信願います。

入場無料

(要事前申し込み)

定員400人

(先着順)

第20回市民向け公開講演会

裏面をご覧ください

重粒子線がん治療の 実際と今後の可能性

2024年

日時

12月15日(日)

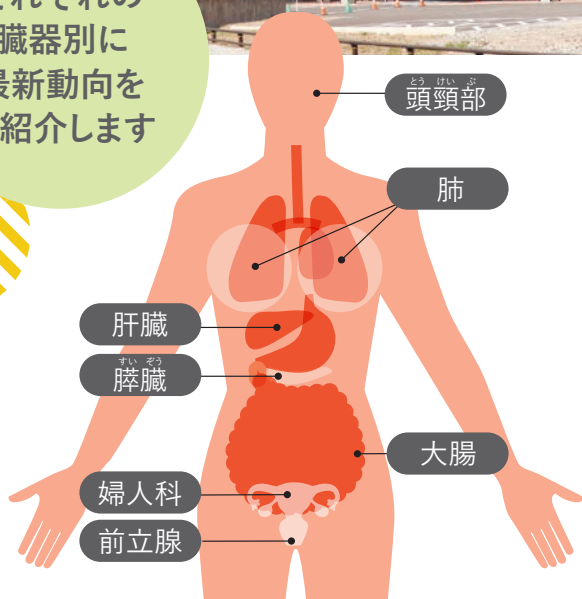
13:30~16:00(開場13:00~)

会場 山形テルサ「テルサホール」

(山形市双葉町1-2-3)

保険適用拡大
より身近な治療に
なっています

それぞれの
臓器別に
最新動向を
ご紹介します



こういう方におすすめ

山形にできた東日本重粒子センターについて知りたい

重粒子線治療に興味・関心がある

重粒子線の最新治療について知りたい

共同主催／公益財団法人 医用原子力技術研究振興財団、国立大学法人 山形大学

お問い合わせ 重粒子線がん治療市民公開講演会係 (山形新聞社広告局内) TEL.023-664-0295 (平日10:00~17:00) FAX.023-627-1041

主なプログラム

第一部

●13:40～14:10

基調講演「身近になった重粒子線治療」

講師 小藤 昌志氏

(山形大学医学部附属病院 放射線治療科長／教授・重粒子線治療センター長)



●14:10～14:20

「重粒子線がん治療の適応と東日本重粒子センターの診療実績」

講師 佐藤 啓氏

(山形大学医学部附属病院 放射線治療科准教授・東日本重粒子センター副センター長)



第二部

●14:35～15:55

臓器別シンポジウム「重粒子線がん治療に期待すること」

○モデレーター

元井 冬彦氏 (山形大学医学部附属病院 第一外科長／教授・東日本重粒子センター副センター長)

○シンポジスト

前立腺がん…川村 裕子氏 (日本海総合病院 泌尿器科 診療部長(兼)泌尿器科部長)

肝臓がん…西瀬 雄子氏 (山形市立病院済生館 消化器内科 主任医長)

大腸がん…岡崎 慎史氏 (山形大学医学部附属病院 第一外科 助教)

婦人科がん…太田 剛氏 (山形大学医学部附属病院 産科婦人科 准教授)

肺がん…塩野 知志氏 (山形大学医学部附属病院 第二外科 副科長・准教授)

頭頸部がん…千田 邦明氏 (山形大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 講師)

放射線治療専門医の立場から…萩原 靖倫氏 (山形大学医学部附属病院 放射線治療科 助教)

脾臓がん、議論のまとめ…元井 冬彦氏 (モデレーター)

参加申し込み方法▶ インターネットまたはお電話

締め切り:12月4日(水)

インターネットの場合

右のQRコードからご入力ください。お申し込みを頂いた方にはメールで入場用QRコードをお送りいたします。

※ご同行の方がいらっしゃる場合も、それぞれお申し込みください



お電話の場合

TEL.023-664-0295 (平日10:00～17:00/山形新聞社広告局内)

下記の項目についてお聞きます

①お名前②よみがな③郵便番号④住所⑤電話番号(緊急連絡先)⑥性別⑦年齢⑧職業
お申し込みを頂いた方には入場用はがきをお送りいたします

※ご同行の方がいらっしゃる場合も、それぞれお申し込みください

※個人情報は適切に管理し、本講演会の運営と東日本重粒子センターの広報活動の改善のみに使用いたします

【共同主催】公益財団法人 医用原子力技術研究振興財団、国立大学法人 山形大学

【共 催】株式会社 山形新聞社

【後 援】文部科学省、厚生労働省、国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構、公益財団法人 日本対がん協会、公益社団法人 日本放射線腫瘍学会、山形県、山形県医師会、山形市、東北がんネットワーク、東北広域次世代がんプロ養成プラン

PRESS RELEASE

令和6年（2024年）11月 7日

山形県初、地球深部探査船「ちきゅう」との衛星中継での市民公開教室が11月24日（日）開催決定

IODP第405次研究航海「東北地方太平洋沖地震」の解明にむけての最先端研究の様子を紹介

【本件のポイント】

- 山形大学地域教育文化学部は、**山形県初の世界最大地球科学掘削船「ちきゅう」と衛星中継した教室**を11月24日日曜日に開催する。
- 「ちきゅう」は国際深海科学掘削計画IODPのExp 405にて東日本大震災のプレート境界型地震解明にむけて掘削調査が進行中であり、9月21日には**世界初**の7877m海底での岩石掘削に成功した。
- 山形県の子どもから大人の方々に、巨大地震解明にむけた研究の最前線について「ちきゅう」を通じて知ってもらい、プレート型地震や防災への関心を深める内容を提供する予定である。



写真：清水港停泊中の「ちきゅう」。IODP Exp 386「東北地方太平洋沖地震古履歴解析」；撮影：竹林知大（山形大）

【概要】

山形大学地域教育文化学部は、山形県初となる世界最大の地球科学研究用掘削船「ちきゅう」との衛星中継を使った市民向け教室を、2024年11月24日（日）に開催する。「ちきゅう」では、プレート境界型地震の解明を目指した国際深海科学掘削計画（IODP）の第405次研究航海 JTRACK が東北沖で現在行われている。この国際研究では、東北地方太平洋沖地震の原因解明や、将来の巨大地震に対する防災対策を目的に、プレート境界から直接岩石を採取し、地震を引き起こすメカニズムや、地下深部における流体や鉱物の物理的特性などを調査している。9月21日には、世界で初めて7877mの海底からの岩石掘削に成功した。11月24日（日）に開催される市民向け教室では、山形県の小学生から大人を対象に、先着約200人を募集する（受付は11月1日から開始）。教室は14時から15時半を予定し、その内約30分間「ちきゅう」と山形大学が衛星中継で繋がり、「ちきゅう」に乗船中の研究者らが直接船内を案内し、中継最後に質問することができる。募集は11月1日から11月20日まで山形大学CWBのWEBサイトで行う（下記参照）。また山形大学の会場では、過去に「ちきゅう」に研究乗船した経験を持つ山形大学教員の竹林知大氏（33）が進行を務め、中継の前後には「ちきゅう」の基本情報や地球科学研究の魅力についても紹介する予定である。第405次研究航海はプレート型巨大地震の解明に向けた歴史的な研究の一つであり、衛星中継にて多くの市民に地球科学の最前線を知る機会を提供することが期待されている。

【背景】

2011年3月11日東北地方太平洋沖地震が発生し、多くの人々の命が津波で奪われた。2012年IODP第343次研究航海 JFAST にてプレート境界の一部から岩石試料の採取に成功し、構成鉱物が粘土鉱物であることや、地震発生時に地震前に蓄積されていた応力が解放されたことを明らかとした。2024年巨大地震から10年以上経過し、プレート境界内で現在の応力の蓄積や地震を起こした地層内の鉱物や流体の物性について課題が残されている。IODP第405次研究航海では、これらの課題解決にむけて「ちきゅう」によるサンプリング調査を行う。その研究の様子について衛星中継（約30分間）を用いて山形大学と繋いだアウトリーチ活動を行う。

【研究・アウトリーチ手法】

参加募集：<https://cwb.kj.yamagata-u.ac.jp/diary/137313>（山形大学CWB）研究手法については、<https://www.jamstec.go.jp/chikyu/j/exp405/index.html>を参考。アウトリーチ手法：衛星中継でつなぐ箇所「ちきゅう」、「IODP J-Desk」、「JAMSTEC」、「静岡東部学習支援センター」、「山形大学地域教育文化学部」を予定している。（用語）：IODP: International Ocean Discovery Program（国際深海科学掘削計画）

お問い合わせ

山形大学地域教育文化学部 講師 竹林知大 博士（理学）、博士（学術）
TEL 090-6599-1991 メール taketomo.geology@e.yamagata-u.ac.jp

11/01

申込開始

(11月20日まで;

先着約200組)

*教室内の座席数に限りがありますので、
座席定員に達し次第募集を締め切ります。

11/24

(日)

特別公開講座

「ちきゅう」の研究最前線!

時間: 14時~15時半 (13時半開場)

「ちきゅう」との接続は約30分を予定

会場: 山形大学小白川キャンパス

お申込み頂きました方に、お申込み後、教室の場所を御案内いたします。

対象: 先着 約200組 どなたでも

(小学生高学年以上にオススメ)

言語: 日本語

山形大学での講師



竹林 知大 博士(理学), (学術)
山形大学地域教育文化学部大学教員
IODP Exp. 386 ちきゅう
しんかい6500/よこすか YK21-06S
ふじのくに地球環境史ミュージアム

「ちきゅう」からの講師



IODP
Exp. 405 JTRACK
地球科学研究者の皆様

メンバー紹介

山形初
ちきゅうと中継教室

国際深海科学掘削計画 (IODP) Exp. 405 で巨大地震の
解明を目指す「ちきゅう」と生中継で船内を案内します!

さらに中継前は、「ちきゅう」と「しんかい6500/よこすか」の
研究乗船の経験を有する山形大学の竹林知大博士が
「ちきゅう」や「地球科学」の魅力について珍しい標本などを
使って紹介します。



IODP Exp. 405公式紹
介動画 (英語)
*YouTubeの日本語
自動翻訳の字幕を
ご活用ください。

【お申込み(11/1開始)・お問い合わせ先】

山形大学
健康と学びのサポートセンター
(Center for Wellbeing, Yamagata Univ.)

〒990-0021 山形県山形市小白川町1丁目4-12

電話: 023-628-4779

(9:00-17:00; お休み: 木・土日祝)

CWBイベント情報の詳細
からお申込みください。

<https://cwb.kj.yamagata-u.ac.jp/diary/137313>



世界初! 7877.5m 深海掘削に成功! (2024.09.21.)

(水深6897.5m, 海底面下980 m)

主催: 山形大学地域教育文化学部
共催: 日本地球掘削科学コンソーシアム, アースサイエンスウィークジャパン実行委員会
協力: 国立研究開発法人海洋研究開発機構 (JAMSTEC)
静岡市東部生涯学習センター (指定管理者: 公益財団法人静岡市文化振興財団)



令和6年（2024年）11月7日

旧済生館本館3・4階のバーチャル見学が可能に！ ～山形大学と山形市が連携してバーチャル見学動画・ツアーを作成～

【本件のポイント】

- 山形大学「つなぐちから。」社会共創活動推進プロジェクトの一環で、山形大学と山形市が協力し、国の重要文化財・旧済生館本館の非公開部分を全天球カメラで撮影し、バーチャル見学が可能な動画とツアーを制作しました。
- これにより、非公開部分をVRゴーグルなどを使用して見学できるようになり、さらに、遠隔地においても容易に文化財に触れる機会を提供することも可能となります。
- 制作した動画・ツアーは9月開催の「ななはく！」のバーチャル見学会でお披露目したほか、山形市郷土館にVRゴーグルを設置し、常時動画を閲覧できるようになりました。今後、ツアーについても山形市郷土館で閲覧できるようにするとともに、山形大学附属博物館が制作しているデジタル・アーカイブ「山形アーカイブ」にも動画・ツアーを掲載し、インターネット上においても閲覧可能な状況を構築する予定です。



旧済生館本館

【概要】

旧済生館本館（山形県山形市霞城町1-1）は、明治11年（1878年）に山形県立病院として建設された建物で、昭和41年（1966年）に国の重要文化財に指定された後、昭和46年（1971年）に霞城公園に移築された歴史的建造物です。現在は山形市郷土館として使用されていますが、3・4階部分は建築保存の観点から通常非公開となっています。非公開部分は年に何回か特別公開を実施していますが、事前に予約が必要で、また定員を設けていることから、見学のタイミングが非常に限られています。

そこで今回、山形大学「つなぐちから。」社会共創活動推進プロジェクトの一環で、山形大学と山形市が協力して非公開部分を全天球カメラで撮影し、全方位を見渡すことのできる動画と、自由に建物内を見回ることができるバーチャルツアーを制作しました。これにより、事前の予約がなくてもVR（仮想現実）で非公開部分を見学できるようになり、さらに、遠隔地においても容易に旧済生館本館に触れる機会を提供することも可能となります。文化財保護と観光を両立する上でも効果を発揮します。

制作した動画・ツアーは山形大学附属博物館や山形市などで組織する山形アーカイブ実行委員会が9月27日～29日に開催した「ななはく！」のバーチャル見学会でお披露目を行いました。また、山形市郷土館にVRゴーグルを設置し、常時動画を閲覧できるようになりました。今後、ツアーについても山形市郷土館で閲覧できるようにするとともに、山形大学附属博物館が作成しているデジタル・アーカイブ「山形アーカイブ」にも動画・ツアーを掲載し、インターネット上においても閲覧可能な状況を構築する予定です。

※用語解説

1. ななはく！（<https://cherry.yum-archives.net/nanahaku/>）：山形大学附属博物館が山形まちづくり株式会社、山形市などで組織する山形アーカイブ実行委員会が毎年2月・9月に七日町で実施しているイベント。2024年9月27日～29日に開催した「ななはく！2024 ルーナ」で5回目。
2. 山形アーカイブ（<https://cherry.yum-archives.net/yamagata-archive/>）：山形大学附属博物館が制作している、同館をはじめとする山形県内の史料保存機関や、山形大学の公認学生サークル「まちの記憶を残し隊」（<https://cherry.yum-archives.net/nokoshitai/>）が集めたまちの「記憶」を一堂に公開するデジタル・アーカイブ。

お問い合わせ

小幡圭祐

（学術研究院准教授人文社会科学部主担当・附属博物館学芸研究員）

電話：023-628-4216 メール：obata@human.kj.yamagata-u.ac.jp

令和6年（2024年）11月7日

『Rethink トング』を活用した学習会と清掃活動を実施します ～IoTを活用した新たな清掃活動～

【本件のポイント】

- 山形大学はRethink PROJECT（JTがパートナーの皆さまとともに行う地域社会への貢献活動の総称。 <https://www.rethink-pjt.jp/>）と共同でIoT トング「Rethink トング」への理解を深めるイベントを開催します。
- 11月12日、「Rethink トング」への理解を深めるため、YU-SDGsカフェ『IoTを活用した清掃活動！？『Rethink トング』について学ぼう！』を開催します。
- 12月1日、七日町において、「Rethink トング」を利用したゴミ拾い活動を行います。



【概要】

「地域創生」、「次世代形成」、「多文化共生」の3つを使命とする山形大学では、これまでもSDGsに関わる個別の教育・研究・地域貢献を実施してまいりましたが、2020年から全学を挙げてその取組みを加速させています。

その活動の一環として、日本たばこ産業株式会社 山形支社さまのご協力のもと、ごみを自動判別し、拾った地点を可視化できるIoT トング「Rethink トング」に関する以下の活動を実施します。

①YU-SDGs カフェ『IoTを活用した清掃活動！？『Rethink トング』について学ぼう！』

(2024年11月12日（火）12:10～12:50)

②ひろえば街が好きになる運動@七日町（2024年12月1日（日）10:00-12:00）

一般の方の参加も歓迎ですので、是非、奮ってご参加ください。一緒に新しい形の清掃活動を体験しましょう。

申し込みはYU-SDGs EmpowerStationから行うことができます。 (<https://sdgs.yamagata-u.ac.jp/>)

【背景】

山形大学は、SDGs活動の一環として日本たばこ産業株式会社さまが取り組んでいる「JTの森鶴岡」などの活動に協力してきました。

この度、「Rethink トング」というIoTを活用した新しい形のゴミ拾いについて提案を受け、「Rethink トング」が持つポイ捨てごみを可視化することで得られたデータを読み解き、ポイ捨てを減らす・無くすきっかけとなり、より良い街づくりに結び付くのではないかと、その活動に大学生が加わることで新しい発見があるのではないかと考え、実施を決定しました。

【今後の展望】

「Rethink トング」を使用することで、ポイ捨てされたごみを判別、マップ上にマッピングすることでこういった場所にどのようなごみが捨てられているか可視化することができます。このデータを街づくりに生かす、ポイ捨てを未然に防ぐ社会の実現に向けて、産学官が連携して取り組みを進めていく「きっかけ」となるよう引き続き活動していきます。

お問い合わせ

【学習会・清掃活動に関すること】

国立大学法人山形大学総務部総務課社会共創推進事務室（SDGs担当）長沼

TEL 023-628-4497 メール yu-sdgs@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

【Rethink トングに関すること】

日本たばこ産業株式会社 山形支社 須貝

TEL 023-647-3566

IoT を活用した清掃活動！？

『Rethink トング』について学ぼう！



拾ったゴミを自動で判別し、拾った地点を可視化することができる『Rethink トング』。
開発経緯や活用方法について、学べる内容となっております。
新しい清掃活動のカタチを学んでみませんか？

対面で参加される場合、実際に Rethink トングに触れることができます！

開催日：2024年11月12日（火） 12：10-12：50

開催方法：対面・Online(Zoom) 併用

会場：山形大学人文社会科学部 1 号館 301 教室

（授業の関係により会場が変更になる可能性があります。）

主催：国立大学法人山形大学

共催：Rethink PROJECT

詳細・参加申込はコチラ

https://sdgs.yamagata-u.ac.jp/bulletin/event/detail_383.html



【問合先】

国立大学法人山形大学総務部総務課社会共創推進事務室（SDGs 担当）

電話：023-628-4497 E-Mail：yu-sdgs@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



ひろえば街が

好きになる運動

@七日町

開催日 令和6年12月1日 **日** 10:00~12:00

山形大学は、RethinkProject と共同で、『Rethink トング』を活用したゴミ拾い活動を七日町において実施します。

トングは、無線カメラ付きで、アプリと Bluetooth 通信で連携し、拾ったごみの種類を AI で判別できる仕様であり、どこに / どんなごみが落ちていたか、地図上に表示し記録が可能です。

ぜひご体験ください！

皆さまのご参加をお待ちしております！！

対 象 どなたでも参加いただけます

定 員 60 名（先着順）

集合場所 山形市役所
(山形県山形市旅籠町二丁目 3 番 25 号)

申込締切 2024 年 11 月 22 日（金）

お申し込みは
こちらから



1 グループ（2~3 人）で活動いただく予定です。

天候により開催を延期または取りやめる可能性があります。

その際は、前日までメールにてお知らせします。

他詳細については、後日、メールにてお知らせします。

主催：国立大学法人山形大学 共催：Rethink PROJECT 後援：山形市 協力：山形まちづくり株式会社

【問合せ】 国立大学法人山形大学総務部総務課社会共創推進事務室（SDGs 担当） 電話：023-628-4497 E-Mail：yu-kikin@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

令和 6 年（2024 年）11 月 7 日

第52回山形大学模擬裁判公演のお知らせ ～「特殊詐欺」、日常に潜む危険に警鐘を鳴らす～

【本件のポイント】

- 第52回模擬裁判公演のテーマは「特殊詐欺」です。認知度の高い犯罪でありながら、認知件数や被害額は相当数に上ります。近年高度化する手口にも触れることで、日常に潜む危険に対して警鐘を鳴らします。
- 本公演を通して、今一度、特殊詐欺についてご自身やご家族で考えるきっかけにさせていただきたいと考えております。
- 1～3年生約90人が参加し、1年がかりで作り上げる迫力の公演とその取り組みにご注目ください。



↑ 体育館で行った通し練習の様子

【概要】

山形大学模擬裁判実行委員会は、学生自身で決めたテーマについて、年に1度「模擬裁判劇」という形で発表し、研究成果を地域の皆様に還元しています。創立52年目となる今年は『特殊詐欺』をテーマに公演を行います。

詐欺手口の高度化や高齢者被害が総認知件数の大半を占めていること、高齢者の増加が見込まれていること等を踏まえ、特殊詐欺における高齢者被害件数の増加が危惧されます。そこで、公演をご覧になった後は、その内容やパンフレットの内容をご家族や周りの方と共有し、今一度、特殊詐欺について考えるきっかけとしていただきたいと考えております。

【模擬裁判とは】

山形大学模擬裁判実行委員会は、人文社会科学部の学生を中心に構成される学生研究団体です。年に1度「模擬裁判劇」という形式で研究成果を発表しています。裁判劇を通して地域の皆様に、社会が抱える問題や法律問題について考えていただくきっかけを提供することを目標に活動しています。

【あらすじ】

主人公は妻・息子と3人暮らしの本田順平。ある日、自分の母から電話がかかってくる。「あんた大丈夫なの？ 落ち着いたら連絡するように言ったじゃない。」
——何を言っているのかわからない。「賠償金が必要だって言ってたでしょ？」
「200万円で足りたの？」 母は見知らぬ若い弁護士に200万円を渡していたのだった。——

【公演内容】第52回模擬裁判公演『謀りて ～一本の電話～』

日時：2024年12月6日(金) 18:00 開演, 12月7日(土) 14:00 開演

場所：山形テルサ テルサホール

料金：前売券 400円／当日券 500円（高校生以下 無料）

チケット販売：山形大学生協／八文字屋プレイガイド



※キャスト練習や本番に向けた活動を可能な限り公開させていただきます。

ご関心のある報道機関の皆様は当団体委員長 松井までご連絡ください。

【山形大学模擬裁判実行委員会 公式SNS】

・ Instagram

・ X

・ HP



@MOGISAI52



お問い合わせ

第52代委員長：松井友哉（まつい ともや）

Mail: mogisai52.tomoya@gmail.com

【協賛】
ふすま同窓会
山形大学校友会

【後援】
株式会社ダイバーシティメディア
山形コミュニティ放送株式会社
株式会社エフエム山形
(株)さくらんぼテレビジョン
株式会社テレビユー山形
株式会社山形テレビ
山形県弁護士会
山形新聞・山形放送
山形地方検察庁
山形地方裁判所
朝日新聞山形総局
読売新聞東京本社 山形支局
毎日新聞山形支局
山形大学法学会
山形大学人文社会科学部後援会
東北大学模擬裁判実行委員会
山形大学
山形県
山形県教育委員会
宮城県教育委員会
山形市
山形市教育委員会
河北新報社
NHK山形放送局

第52回模擬裁判公演

【主催】
山形大学
模擬裁判実行委員会

謀りて

～ 一本の電話 ～

2024年

12月6日(金)

開場：17:30

開演：18:00

会場

山形テルサ
テルサホール

入場料金

前売券 400円

当日券 500円

高校生以下無料

12月7日(土)

開場：13:30

開演：14:00

チケット取り扱い：山形大学生協/八文字屋本店プレイガイド

前売券の予約フォームはこちらから



PRESS RELEASE

令和6年（2024年）11月7日

「樹氷マイスター」の第一期生が誕生しました ～ 樹氷についての正しい知識・情報を伝承する ～

【本件のポイント】

- 2022年、「山形大学 蔵王樹氷火山総合研究会」の下に「樹氷の会」（会長 柳澤文孝）が設立されました。
- 「樹氷の会」では、樹氷についての正しい知識・情報を伝承できる講師・講師補助者を養成することを目的として「樹氷マイスター養成講座」を行っております。
- 「樹氷マイスター」第一期生4名が誕生し、2024年10月27日に認定証を配布いたしました。



樹氷マイスター養成講座の様子

【概要】

2022年、「山形大学 蔵王樹氷火山総合研究会」の下に設立された「樹氷の会」では、樹氷についての正しい知識・情報を伝承できる講師・講師補助者を養成することを目的として「樹氷マイスター養成講座」を行っております。2024年10月27日、「樹氷マイスター」と「樹氷マイスター（仮免）」の第一期生が誕生いたしました。

2010年、山形大学におきまして、地域や家庭で科学の不思議や面白さ、科学技術を伝える講師や講師補助者になって頂くための指導者養成をめざして「蔵王マイスター養成講座」が開催されました。それから10余年たちまして、樹氷に様々な変化がありました。

- （1） 樹氷に温暖化や虫害などの影響がでております。
- （2） 樹氷に関する新たな資料や事柄が多数見つかりこれまでと異なった新たな樹氷像ができあがっております。
- （3） 樹氷について雪氷・気象・環境・山岳・観光・映画など多岐に渡って膨大な情報が存在します。しかし、樹氷に関する資料・情報を集積した所はありませんでした。柳澤は収集した数千点にのぼる資料を2021年から山形市図書館に寄贈しており、山形市図書館では資料の登録・データベース化が進められております。

2021年、山形大学 蔵王樹氷火山総合研究会におきまして樹氷資料を利活用すると共に、樹氷についての正しい知識・情報を伝承できる講師および講師補助者の養成をめざした「準備会」が開催され、2022年、「樹氷の会」（会長 柳澤文孝）が設立されました。「樹氷の会」では、教員や山岳インストラクター、蔵王マイスター受講者などを中心として希望者を募り、10余名のご参加いただいて、山形市図書館などにおきまして月に1回 樹氷マイスター養成講座（講座・樹氷資料の見学・学会の聴講・野外実習）を開催しております。これまで、樹氷の発見・樹氷のでき方・樹氷（アイスモンスター・エビノシッポ）の名称・蔵王山測候所・蔵王高層気象着氷対策研究所・温暖化影響（樹氷の衰退・樹氷の新規発見）・越境汚染（黒い樹氷）・黄砂の影響・虫害・白魔は招くとMt. Zao・アーノルド ファンク監督と円谷英二監督・ワサ小屋・樹氷の絵葉書など、約30回の講座が開かれております。

（お問合せ先）

- 樹氷の会 会長
山形大学 名誉教授 柳澤文孝
メール icemonster.white@gmail.com
- 樹氷の会 事務局長
山形市立第四中学校 教諭 土門直子

「樹氷マイスター養成講座」に参加されている方の中で、野外実習を含めて15講座以上を受講している方4名を「樹氷マイスター」に、野外実習をされたが講座数が満たない方3名を「樹氷マイスター（仮免）」と認定し、2024年10月27日に認定証を配布いたしました。「樹氷マイスター」および「樹氷マイスター（仮免）」の第一期生の皆様には、樹氷についての正しい知識・情報を伝承できる講師および講師補助者として活躍いただくと共に、樹氷資料を利活用して樹氷・蔵王に関する調査・研究を行っていただけるものと期待いたしております。

「樹氷の会」といたしましては樹氷に関する正しい知識の普及活動を行いたいと考えております。また、「樹氷マイスター養成講座」を継続して来年春には「樹氷マイスター（仮免）」の方々を中心に「樹氷マイスター」第二期生の誕生、更に、第三期生の募集へとつなげていきたいと計画しております。

「樹氷マイスター養成講座」の様子



令和6年(2024年)11月7日

山形大学

*詳細は別添の資料をご覧ください。

1. やまがた進学大交流フェスタ 2024 in 新庄 ～保護者と考える県内進学・就職～



大学コンソーシアムやまがた主催「やまがた進学大交流フェスタ 2024 in 新庄 ～保護者と県内進学・就職について考える～」を開催します。

日時：令和6年12月8日（日）13:00-15:00

会場：東北農林専門職大学 大ホール（新庄市大字角沢 1366） 兼 オンライン配信

対象：保護者の方、ほか年齢を問わずどなたでもご参加いただけます！

2. 「庄内スマート・テロワール 豊穣感謝祭 2024」を開催します



下水道資源などの肥料資源を活用した地域循環共生圏の構築に向けたシンポジウムと、プロジェクトから産まれた加工品などの試食会を行い、庄内地域の未来像を考えます。

日時：令和6年11月18日（月）13:30～17:00

場所：グランドエル・サン クリスタルホール（鶴岡市東原町 17-7）

開催方法：会場での対面および Zoom による配信

参加費：無料

3. 青山千紘&渋谷穂香ピアノデュオリサイタルの開催のお知らせ

—令和6年度学生チャレンジプロジェクト採択事業—

山形大学学生チャレンジプロジェクトにより、2台ピアノ・連弾によるデュオコンサートを行いたいという出演者二人の長年の夢を叶えます。同時に、地域の方へクラシック音楽の魅力を発信し、山形のクラシック音楽業界をより一層盛り上げることが期待されます。

① 山形テルサテルサホールでの公演

日時…令和6年12月23日(月) 開場 18:30 開演 19:00 入場無料・全席自由
2台ピアノの演奏をメインとし、その他連弾、ソロの演奏も予定しております。

② 大江町町民ふれあい会館での公演

日時…令和7年1月26日(日) 開場 13:30 開演 14:00 入場無料・全席自由
1台のピアノで、連弾とソロによる演奏を予定しております。

4. 学生チャレンジプロジェクト「エコ×ウェアプロジェクト」

山形大学学生チャレンジプロジェクトにより、不要になった衣類の回収・無料配布を行い、県内のリユースを加速、SDGs に貢献します。

日時：令和6年12月21日(土)・22日(日) 11:00～16:00

※21日(土)に衣類の回収、22日(日)に衣類の配布を行います。

場所：山形テルサ1階 大会議室

5. 「スライムマイスター養成講座（初級）」を開催

山形大学 SCITA センターでは、子どもたちに科学の楽しさを伝えるサイエンス・コミュニケーター「スライムマイスター」を平成21年度から養成しています。「スライムマイスター」は、子どもたちの科学への興味を深めるために、スライムを通して理科離れに歯止めをかけようと、やまがた『科学の花咲く』プロジェクトが養成しているもので、講座の開催は今回で19回目を迎えます。今まで約200名がスライムマイスターに認定されています。

開催日時：令和6年11月30日（土） 9:00～16:00

開催場所：山形大学基盤教育3号館331室（山形市小白川町1丁目4-12 山形大学小白川キャンパス）

6. 「『もののあはれ』の世界へようこそ！2 もっと知りたい『源氏物語』」 を開講します～エクステンションぷらす 2024winter～



『源氏物語』の名場面をわかりやすい表現と絵画などの視覚的資料を用いながら解説する講座です。今回は光源氏の青春時代と流離・復権を描く巻を取り上げます。また、エクステンションぷらすスピノフ企画として、「『源氏物語』とお香」と題した練香づくりのワークショップを行います。

[オンデマンド講座] *全回見逃し配信あり

<第1回> 「『源氏物語』入門（あらすじ・紫式部の生涯）」 2024年12月3日（火）配信予定

<第2回> 「『源氏物語』を読む／「簞木巻」「空蟬巻」「夕顔巻」 2024年12月3日（火）配信予定

<第3回> 「『源氏物語』を読む／「花宴巻」「須磨巻」「明石巻」 2024年12月10日（火）配信予定

[受講料] 5,000円（オンデマンド講座 全3回分）[対象] 一般（高校生以上）

[講師] 森木三穂氏（鶴岡工業高等専門学校 創造工学科・講師） 専門：国文学

スピノフ企画「『源氏物語』とお香 ～練香づくりワークショップ」

[日時] 2024年12月7日（土）13時30分～15時30分

[会場] 山形大学小白川キャンパス 人文社会科学部棟1号館101教室

[講師] 森木三穂氏 [受講料] 8,000円 [対象] 一般（高校生以上）[定員] 20名（先着順）

7. 「山形に根付く法学の血脈」を開講します～エクステンションぷらす 2024winter～



最近話題の日本における「近代法」「民法」、そして山形の法学者についての講座を開催します。

[オンデマンド講座] *全回見逃し配信あり

<第1回> 「ボワソナードとその教え子たち」 2024年12月6日（金）配信予定

<第2回> 「宮城浩蔵と安達峰一郎」 2024年12月13日（金）配信予定

<第3回> 「米沢出身の法律家たち」 2024年12月20日（金）配信予定

[受講料] 5,000円（全3回分）[対象] 一般（高校生以上）[定員] 20名

[講師] 高橋良彰氏（人文社会科学部 教授） 専門：民法（典）史

8. 「文字！もじ！モジ！～文字とはなにものぞ～」～文字はもじでもモジではない！文字から日本文化の特性について考える企画展～

山形大学中央図書館所蔵の重要文化財「中条家文書」から貴重な女性の書いた古文書3点と当館館長所蔵の古文書・掛け軸など6点（全9点）を山形大学附属博物館で展示しています。鎌倉時代から江戸時代までひらがなやカタカナが社会の中でどう使われていたか、文字が読めない人々に文字がどう見えていたかなど、「文字とはなににか」を考えることを目的とした企画展です。

9. 第7回学びのフォーラムを開催します

山形大学大学院教育実践研究科「学びのフォーラム」を開催します。「学びのフォーラム」は、高校生、大学生、社会人が、「学ぶとはどういうことか」について共に探究するプログラムです。

●日時及び会場 ※3回すべてでZoomを使ったオンラインでも参加可能です。

第1回 11月30日（土） 小白川キャンパス中央図書館ラーニングコモンズ

第2回 12月8日（日） 小白川キャンパス中央図書館ラーニングコモンズ

第3回 12月15日（日） 小白川キャンパス中央図書館ラーニングコモンズ

●参加費 無料

●申し込み受付期限 11月27日（水）

●内容

第1回 「できる」とはどういうことか コーディネーター 山形大学准教授 森田智幸

第2回 「考える」とはどういうことか コーディネーター 山形大学准教授 森田智幸

第3回 「遊ぶ」ということの意味 コーディネーター 山形大学准教授 森田智幸

話題提供 東京大学名誉教授 佐伯胖 氏



令和6年（2024年）11月7日

やまがた進学大交流フェスタ 2024 in 新庄

～保護者と考える県内進学・就職～

【本件のポイント】

- 12月8日（日）、大学コンソーシアムやまがた主催「やまがた進学大交流フェスタ 2024 in 新庄 ～保護者と県内進学・就職について考える～」を開催。
- 令和6年4月、当コンソーシアムを「やまぶら」の高等教育機関連携部門として位置づけ、重点目標「山形県内高等学校からの県内大学進学率向上」に資することを目的に今回2回目の実施。**最上地区を会場にしての開催は初。**
- 県内進学・就職の意義等について、各分野で活躍する3名の講師を招聘し、基調講演・シンポジウムを対面・オンライン併用開催。



大学コンソーシアム
やまがた

<事業概要>

日時：令和6年12月8日（日）13:00-15:00

会場：東北農林専門職大学 大ホール（新庄市大字角沢 1366） 兼 **オンライン配信**

対象：**保護者、教員、入試・人事担当者、中・高・大学生等**どなたでもご参加いただけます！

プログラム：13:00- 開会（10分）

●玉手 英利 大学コンソーシアムやまがた会長（山形大学長）挨拶

●神山 修 東北農林専門職大学長 挨拶

13:10- 基調講演（各20分※質疑応答を含む）

●大山 慎一 氏（東北公益文科大学公益学部 教授）

タイトル『やまがたの宝を「みがき、ふやし、つなぐ」』

●秋場 宏大 氏（株式会社山形銀行営業支援部事業承継・M&A支援室 調査役）

タイトル『社会人16年目になって感じること ～酒田に住み、学んだ4年間と、山形銀行の魅力～』

●五十嵐 健裕 氏（県立山形中央高等学校 PTA 会長（東北農林専門職大学教務学生課長））

タイトル『子どもとともに親も OS をアップデートしよう！』

14:10- 休憩

14:20- シンポジウム（30分）

テーマ「**進路決定にかかる子どもとの関わり方について**」

14:50- 質疑応答

15:00- 閉会

○全体司会：大森 桂 山形大学副学長（社会共創担当）

○ファシリテーター：柿崎 慎也 山形大学准教授（人文社会科学担当）

※プログラムは変更が生じる場合があります。

※【会場参加者限定】終了後、**各高等教育機関コーナーにて、直接相談できる場所も設置予定です。**



<申込方法>

下記 URL または QR コードからお申込みください。【締切：令和6年12月2日（月）】

<https://www.yamagata-u.ac.jp/yamapura/news/festa-2024/>

（参考）

大学コンソーシアムやまがた HP

<https://consortium-yamagata.jp/>

やまがた社会共創プラットフォーム HP

<https://www.yamagata-u.ac.jp/yamapura/>



【お問い合わせ】

大学コンソーシアムやまがた事務局

（やまがた社会共創プラットフォーム高等教育機関連携部門）

TEL: 023-628-4615

E-Mail: yu-unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

やまがた 進学大交流 フェスタ 2024 in 新庄

～保護者と考える県内進学・就職～

大学等への進学に関するお悩みなどございませんか？
大学・保護者・就職それぞれの観点から進学に関する

講演・シンポジウムを行います！

子どもたちの未来について、
「オールやまがた」でかんがえて
みませんか？

対象者

山形県内の中高校生の **保護者の方**

他、年齢問わず、どなたでもご参加いただけます！

日時

2024年

12月8日
13:00-15:00

参加
無料

場所

東北農林専門職大学 大ホール

〒996-0052 山形県新庄市角沢1366

同時

WEB上 (zoom) にて
オンライン配信します。



申込先

お申込はこちらのページから→
当日の詳細もこちらからご確認ください。

URL <https://www.yamagata-u.ac.jp/yamapura/news/festa-2024/>



申込締切

2024年12月2日(月)まで

13:00-14:10 講演会

講演
01

やまがたの宝を
「みがき、ふやし、つなぐ」

Title

大山 慎一氏

東北公益文科大学教授／
前 県立酒田東高等学校 校長

Profile



東北公益文科大学教授。専門は英語科教育法、実践教育論。東北学院大学卒業後、県内高等学校にて英語教諭として勤務。山形県教育センター指導主事、主任指導主事、研究・情報課長を務めた。2012年放送大学大学院文化科学研究科修士課程修了。県内高等学校教頭・校長・山形県教育センター所長を歴任。県立酒田東高等学校校長を最後に定年退職後、2023年より現職。

講演
02

社会人16年目になって感じること
～酒田に住み、学んだ4年間と、山形銀行の魅力～

Title

秋場 宏大氏

株式会社山形銀行
営業支援部事業承継・M&A支援室 調査役

Profile



西村山郡河北町出身。東北公益文科大学卒業。2009年に山形銀行入行後、県内営業店3カ店に勤務し、主に法人渉外業務を担当。企業に対する融資や各種ソリューション提案などに取り組む。2019年4月から1年間、都銀に出向し事業承継業務のノウハウを習得。2020年4月から現職の営業支援部 事業承継・M&A支援室に着任し、事業承継業務の専門家として県内外の法人顧客の事業承継を支援。

講演
03

親も自分のOSを
アップデートしよう

Title

五十嵐 健裕氏

県立山形中央高等学校PTA会長／
東北農林専門職大学教務学生課長

Profile



酒田市出身。中央大学法学部卒業。1999年山形県入庁後、庄内総合支庁や県教育庁などで勤務。2009年より2年間宮城県に出向し農水産加工品等の取引拡大を担当。その後中国黒龍江省への県事務所開設、インドネシアパプア州とのJICA事業、ブラジル訪問などに取り組む。2021年より教育局教育政策課で施設管理を担当、その間育児休業を取得。2024年4月より現職。山形中央高校PTA会長としても奮闘中。

14:20-15:00 シンポジウム

Title

進路決定にかかる子どもとの関わり方について

ファシリテーター：柿崎 慎也氏 山形大学准教授 (人文社会科学部担当)

専門は技術哲学、産業論、科学社会学、科学技術史

会場
設置

資料コーナー



進学に関する資料、パンフレットなど多数ご用意しております。
また、各高等教育機関コーナーにて、直接相談できるブースも設置予定です。



主催／大学コンソーシアムやまがた (やまがた社会共創プラットフォーム高等教育機関連携部門)

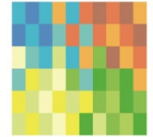
MAIL : yu-unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp TEL : 023-628-4615

令和6年（2024年）11月7日

「庄内スマート・テロワール 豊穰感謝祭2024」を開催します

【本件のポイント】

- 11/18（月）山形大学アグリフードシステム先端研究センター（YAAS）、庄内スマート・テロワール構築協議会主催のシンポジウムを開催。
- 当プロジェクトは、2016年4月の寄附講座 食料自給圏「スマート・テロワール」形成講座の設置以来、今年で8年目。
- 基調講演や取り組み事例等の紹介のほか、スマート・テロワールプロジェクトから産まれた加工食品などの試食会もあり。



YAAS
YAMAGATA UNIVERSITY
ADVANCED AGRI-FOOD SYSTEM
RESEARCH CENTER



【概要】

山形大学が取り組んでいる庄内スマート・テロワールプロジェクトでは、庄内地域の風土を活かしながら、栽培技術や加工技術を共有し、さらに消費者とともに、庄内の農地を含めた多様な資源を有効に活用することにより、食と農のサステナビリティ（持続可能性）を実現することを目標にしています。これは、環境省が推進する地域循環共生圏にも繋がる取り組みです。そこで本会では、下水道資源などの肥料資源を活用した地域循環共生圏の構築に向けたシンポジウムと、プロジェクトから産まれた加工品などの試食会を行い、庄内地域の未来像を考えます。

【開催日時・会場】

日 時： 令和6年11月18日（月）13：30～17：00
場 所： グランドエル・サン クリスタルホール（鶴岡市東原町17-7）
開催方法：会場での対面および Zoom による配信
参加費： 無 料

【第1部 シンポジウム】13：30～16：10

《基調講演》

「Think Globally, EAT Locally! ～サステナブルな食と農の未来へ～」

国立大学法人三重大学副学長（広報）・大学院地域イノベーション学研究科教授 松田 裕子

《行政改革の紹介》

「環境で地域を元気に！地域循環共生圏の創造について」

環境省地域循環共生圏推進室 室長 石川 拓哉

《循環型農村経済圏（スマート・テロワール）の紹介》

「スマート・テロワール構想の概要とプロジェクトから産まれた加工食品の紹介」

山形大学農学部 教授 浦川 修司

《下水道資源の活用に向けた研究紹介》

「地域肥料資源や地域飼料資源を活用した豚肉生産と加工品の特徴」

山形大学農学部 准教授 松山 裕城

「下水道資源等の活用による地域循環共生圏の可能性」

株式会社日水コンコンサルティング本部 環境・資源部副部長 酢谷 大輔

お問い合わせ

「庄内スマート・テロワール」豊穰感謝祭 2024 事務局
（農学部附属やまがたフィールド科学センター内）

TEL 0235-24-2278 メール yu-nogyomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

【第2部 地域資源を活用した農畜産物やその加工品の試食会】16：20～17：00

【申込方法】

■メールまたはFAXの場合

①参加者氏名（ふりがな）、②会社・所属、③住所、④電話番号、⑤Zoom 参加希望の有無を明記の上、下記担当までお申込みください。

「庄内スマート・テロワール」豊穡感謝祭 2024 事務局

FAX：0235-24-2270 E-mail: yu-nogyomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

■WEBの場合

下記 Forms（もしくは右のQRコード）からお申込みください。

<https://forms.office.com/r/NzXjgmkQdy>

◎申込締切：令和6年11月11日（月）



Houjo
Kansyasai

女性消費者の
ご参加をお待ち
しております！

豊穰感謝祭 2024

庄内スマート・テロワール



地域循環共生圏の構築に向けた
シンポジウムを開催します！

会場：グランド エル・サン
クリスタルホール
(山形県鶴岡市東原町17-7)
会場での対面とzoomによる配信

2024 11/18 月
13:30-17:00

基調
講演

Think Globally, EAT Locally! ～サステナブルな食と農の未来へ～

三重県津市出身。慶應義塾大学卒業、東京大学大学院で博士(農学)を取得。専門は農業経済学・地域政策学で、EUの持続可能な農村振興に長年従事。農林水産政策研究所を経て、地方自治体で地方創生に従事した経験を持つ。現在は三重大学教授、副学長(広報)として、地域と大学を繋ぐ活動に加え、サステナブルな食と農の実現や、消費者の役割についても研究し、持続可能な未来に向けた提案を行っている。



三重大学 副学長(広報)
大学院地域イノベーション学研究所
教授 松田裕子 氏

概要

行政政策の紹介

環境で地域を元気に！
地域循環共生圏の創造について
環境省 地域循環共生圏推進室
室長 石川 拓哉 氏

スマート・テロワールPJの紹介

下水道資源の活用に向けた研究紹介

スマート・テロワールPJから産まれた 加工食品などの試食会

地域資源を活用した農畜産物や
その加工品の試食会

詳細・お申込みは裏面へ

庄内スマート・テロワールでは、環境省が推進する循環型社会の実現に向け、「下水道資源等を利用した良質な飼料作物栽培で目指す地域循環共生圏」の課題に取り組んでいます。

山形大学が取り組んでいる庄内スマート・テロワールプロジェクトでは、庄内地域の風土を活かしながら、栽培技術や加工技術を共有し、さらに消費者とともに、庄内の農地を含めた多様な資源を有効に活用することによって、食と農のサステナビリティ（持続可能性）を実現することを目指しています。これは、環境省が推進する地域循環共生圏にも繋がる取り組みです。そこで、本会では下水道資源などの肥料資源を活用した地域循環共生圏の構築に向けたシンポジウムとプロジェクトから産まれた加工品などの試食会を行い、庄内地域の未来像を考えます。

第1部

シンポジウム

(会場:クリスタルホール)

13:30

開会の挨拶

13:40

国立大学法人山形大学農学部 学部長 渡部 徹 氏

13:40

【基調講演】

14:30

Think Globally, EAT Locally!

～サステナブルな食と農の未来へ～

国立大学法人三重大学 副学長(広報)

大学院地域イノベーション学研究科教授 松田 裕子 氏

14:30

【行政施策の紹介】

15:00

環境で地域を元気に！ 地域循環共生圏の創造について

環境省 地域循環共生圏推進室 室長 石川 拓哉 氏

15:00

【循環型農村経済圏(スマート・テロワール)の紹介】

15:10

スマート・テロワール構想の概要と プロジェクトから産まれた加工食品の紹介

山形大学農学部 教授 浦川 修司 氏

15:10

15:40

【下水道資源の活用に向けた研究紹介】

地域肥料資源や地域飼料資源を活用した 豚肉生産と加工品の特徴

山形大学農学部 准教授 松山 裕城 氏

15:40

16:10

下水道資源等の活用による 地域循環共生圏の可能性

株式会社日水コン コンサルティング本部

環境・資源部 副部長 酢谷 大輔 氏

第2部

地域資源を活用した農畜産物や その加工品の試食会

16:20

17:00

今年からスマテロ納豆が加わりました。さらに、新たな商品開発に向け、スマテロプロジェクトから産まれた美味しい加工品を楽しみながら、庄内地域の未来像を考えましょう！



参加申込書

「メール」または「FAX」にて必要事項をご記入の上、お申し込みください。
FAXの場合は、このまま送信ください。

申込み締切

令和6年 11月11日(月)締切

申込み先

「庄内スマート・テロワール」豊穰感謝祭2024事務局
(山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター内)
〒997-0369 山形県鶴岡市高坂字古町 5-3
TEL:0235-24-2278

FAX

0235-24-2270

E-mail

yu-nogyomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

※お知らせ頂きました事項について、本講演会の開催
目的以外に使用する事はございません。

参加者氏名	(ふりがな)
会社・ご所属	
住所	
電話番号	

PRESS RELEASE

令和6年（2024年）11月7日

青山千紘 & 渋谷穂香ピアノデュオリサイタルの開催のお知らせ —令和6年度学生チャレンジプロジェクト採択事業—

【本件のポイント】

- 2台ピアノ・連弾によるデュオコンサートを行いたいという出演者二人の長年の夢を叶えると同時に、地域の方へクラシック音楽の魅力を発信し、山形のクラシック音楽業界をより一層盛り上げることが期待される。
- 音楽分野の学生による山形大学学生チャレンジプロジェクトの実施は初めての取り組みである。
- 地方で演奏会を行うことで、普段音楽を聴きに行きたくても行けない方に生の音楽を届けること、子どもからお年寄りまであらゆる世代をターゲットにし、さまざまな楽曲を演奏することでクラシック音楽に興味関心を持ってもらうことも期待される。



【概要】

青山千紘 & 渋谷穂香ピアノデュオリサイタルの内容について

①山形テルサテルサホールでの公演

日時…2024年12月23日(月) 開場 18:30 開演 19:00

入場無料・全席自由

2台ピアノの演奏をメインとし、その他連弾、ソロの演奏も予定しております。

②大江町民ふれあい会館での公演

日時…2025年1月26日(日) 開場 13:30 開演 14:00

入場無料・全席自由

1台のピアノで、連弾とソロによる演奏を予定しております。



【背景】

青山・渋谷ともに山形市の出身であることから、山形駅からアクセスが良く、音の響きの良い施設である山形テルサで、大学内で行うことが困難である2台ピアノの演奏会を行いたいと考えた。また、山形市に比べて少子高齢化が進んでいる町の一つである大江町で演奏会を開催し、遠方のため行きたくても行けない方にも足を運んでもらえたらと考え大江町での演奏会を企画した。ふれあい会館では昨年、ジャズピアニストの公演（入場無料）が開催され早い段階で満席となっていたことから、演奏会への需要は十分にあると考えている。

【研究手法・研究成果】

演奏する楽曲についてはクラシック音楽に馴染みのない方でも耳にしたことがあるものを多く取り入れ、多くの方に興味を持ってもらいたいと考えている。またホールの使用料や調律費等、高額な費用がかかるため大学のご支援をいただき、実施が可能となった。

【今後の展望】

地域の方が気軽に参加できる演奏会づくりを心掛けることで、さらに音楽が溢れる山形となることを期待したい。またこの度のプロジェクトをきっかけに、音楽分野の学生たちがより積極的に演奏活動を行い、音楽科の学生への地域の関心が増すことを期待したい。

【山形大学学生チャレンジプロジェクトとは】

学生が主体的に活動し、大学や地域との関わりを深める魅力的な企画を募集し、採択された企画に、予算の範囲内で大学が支援を行うプロジェクトです。

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

※用語解説

1. 連弾：1 台のピアノを複数の奏者が弾くこと（今回における連弾は 2 人で 1 台を演奏することを意味する）
2. 2 台ピアノ：2 台のピアノを 2 人の奏者が弾くこと

お問い合わせ

青山千紘&渋谷穂香ピアノデュオリサイタル実行委員会

メール：duorecital1223@gmail.com

山形大学エンロールメント・マネジメント部学生支援課 齋藤

TEL：023-628-4840 メール：yu-gakumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

PRESS RELEASE

令和6年（2024年）11月7日

エコ×ウェアプロジェクト

—令和6年度学生チャレンジプロジェクト採択事業—

【本件のポイント】

- 不要になった衣類の回収，無料配布を行います
- これにより県内のリユースを加速し、SDGsに貢献できます
- 使わなくなった衣服を再利用し、さらに着たい服を手に入れる事ができます



【概要】

「エコ×ウェアプロジェクト」

日程：2024年12月21日(土)・22日(日)

時間：11時～16時

場所：山形テルサ1階 大会議室

公式サイト：<https://againchimu.wixsite.com/reuseproject>

内容：着なくなってしまった衣類を持ち寄っていただき、無償にて着たい服を持ち帰って頂きます。

事前申し込みは不要です。お気軽にお立ち寄りください。

※1日目（21日）に服を回収いたします。2日目（22日）に服をお持ち帰りいただけます。

【背景】

近年ファストファッションの発展や衣服の廉価化により買ってから数回着て捨てる人が急増しており、年一人当たり12枚の衣服を手放すと試算されています。また、年間で50800tもの衣類がゴミに出されています。（数値は環境省HPより引用）

さらに今世界的にリサイクル・リユースが重要視されています。特にリユースについてはリサイクルに比べ資源的に優しいと考えられていますがりユースを行える場というのは中々用意されていないという現状があります。（海外支援としてのリユースはありますが国内向けのリユースはほぼなく、現状リユースを県内で行うには有料で行うしかありません）

そこで私たちが無料でリユースを行える場を提供したいと考え実施します。

これにより衣類に関するごみの減少につなげられ、環境負荷の軽減に加えSDGsに向けての対策となります。

服の持ち込みをしていただいた方には一般参加の方よりも早く入場できる特典を付ける予定です。

【今後の展望】

来年度も実施したいと考えています。

また、さらに幅広い年代の方々にも来ていただけるように、SNSなどを通した広報活動により力を入れていきます。

【山形大学学生チャレンジプロジェクトとは】

学生が主体的に活動し、大学や地域との関わりを深める魅力的な企画を募集し、採択された企画に、予算の範囲内で大学が支援を行うプロジェクトです。

お問い合わせ

イベントHP (<https://againchimu.wixsite.com/reuseproject>)

Team again 代表 影山大輔 メール：againchimu@gmail.com

※HP中にチームの問い合わせ先があります。

※Team againは山形大学生で構成された山形エコ✕ウェアプロジェクトの運営チームです。

「再び/もう一度」という意味を持つ「again」をチーム名に込めました。

山形大学エンロールメント・マネジメント部学生支援課 齋藤

TEL：023-628-4840 メール：yu-gakumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

令和6年11月7日

「スライムマイスター養成講座（初級）」を開催

【本件のポイント】

- スライムに関する化学の知識と小さな子ども達への指導方法を学ぶ講座。
- スライムマイスターの認定を受けると、サイエンス・コミュニケーターとして、子ども達に科学の楽しさを伝える各種イベントや実験教室で活動できる。
- 今回で19回目。これまでに約200名がスライムマイスターの認定を受け、地域で活躍している。



【概要】

山形大学 SCITA センターでは、子どもたちに科学の楽しさを伝えるサイエンス・コミュニケーター「スライムマイスター」を平成 21 年度から養成しています。11 月 30 日（土）に、山形大学小白川キャンパス基盤教育 3 号館 331 室において開催する「スライムマイスター養成講座」では、子どもたちに人気のスライムの原理や科学知識、作成方法、子どもたちへの指導方法を修得します。すべての講座を受講した方は、スライムマイスター（初級）に認定され『科学の花咲かせ隊』※隊員として、地域のイベントやボランティアで科学の不思議や面白さを伝える活動を行います。

「スライムマイスター」は、子どもたちの科学への興味を深めるために、スライムを通して理科離れに歯止めをかけようと、やまがた『科学の花咲く』プロジェクトが養成しているもので、講座の開催は今回で 19 回目を迎えます。今まで約 200 名がスライムマイスターに認定されています。

【講座内容】

- 開催日時：令和 6 年 11 月 30 日（土） 9 時 ～ 16 時 10 分
開催場所：山形大学基盤教育 3 号館 331 室（山形市小白川町 1 丁目 4 - 12 山形大学小白川キャンパス）
講座内容：山形大学 SCITA センタースタッフとやまがた『科学の花咲かせ隊』※スライムマイスターがスライムを使って科学の不思議や面白さ、科学技術を伝える指導者を養成するための講座を開催します。
- ①「基礎講座」
スライムの基本を学びます。
 - ②「実験安全講座」
実験で使用する化学薬品の毒性、取り扱いを学びます。
 - ③「実験指導講座」
子どもへの指導方法、指導上の注意点を学びます。
 - ④「実験講座」
実際に各種のスライムの作成法を学びます。
 - ⑤「指導実施講座」
実際のイベントに参加します。

【申込方法等】チラシの裏面の申込書より 11 月 22 日までに申し込んで下さい。（定員 20 名/応募多数の場合抽選）

※ SCITA センターでは、「科学の花咲く」プロジェクトとして、科学が文化として地域社会に根付くよう県内各地域、各分野の大学、科学館、研究機関、教育関係者などの連携による科学技術理解の活動充実や活発化、サイエンス・コミュニケーター養成をすすめています。養成されたサイエンス・コミュニケーター（スライムマイスター、クラゲマイスター、蔵王マイスター、月山マイスター）たちは、『科学の花咲かせ隊』として地域や家庭で科学の不思議さや面白さを教えるイベント等で活躍しています。

お問い合わせ
山形大学 SCITA センター（岩井）
電話 023-628-4506

スライムマイスター 養成講座(初級)のご案内

スライムマイスター養成講座(初級)とは？

スライムに関する化学の知識と小さな子どもたちへの指導方法を学び、スライムの楽しみ方をみんなに教えるのがスライムマイスター(初級)です。地域のイベントや、ショッピングモールで指導したり、一緒に遊んだり、地域のボランティアとして活動してみませんか？子どもの「できた！」笑顔にたくさん出逢える活動です。スライムに興味がある方はもちろん、子どもが好きな方もぜひご参加ください！

日時

2024年

11月30日(土) 9:00-16:10

- 申込み受付期間: 10月18日(金)正午～11月22日(金)正午
- 会場: 山形大学小白川キャンパス基盤教育3号館 331室
および各イベント実施会場(下記記載)
- 受講要件: 高校生以上
- 定員: 20名(応募者多数の場合は抽選になります)
- 受講料: 700円(テキスト代・傷害保険料)
- 申込み方法: 裏面受講申込書をご提出ください(メール、QRコード、FAX対応可)



11月30日(土)

時間	講座名	講座内容
9:10-9:20	やまがた『科学の花咲く』プロジェクトについて	
9:20-10:20	基礎講座	スライムとは？
10:20-11:00	化学実験安全講座	実験で使用する化学薬品の毒性、取扱方法
11:10-11:40	実験指導講座	子どもへの指導法及び注意点
12:40-16:10	実験講座	のび～るスライム、スライム風船他

※指導実施講座 (初級スライムマイスターの取得には下記イベントに1回以上の参加が必須となります)

開催予定日	イベント名	イベント会場
12月1日(日)	みんなで楽しむスライム実験2024後期	山形県産業科学館
12月8日(日)	科学で東北を盛り上げ隊！@石巻	遊楽館(石巻市)
1月12日(日)	みんなで楽しむスライム実験2024後期	山形県産業科学館

2024年度
スライムイベント

やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 山形大学SCITAセンター

TEL: (023)628-4506 FAX: (023)628-4517

E-mail: kagaku-scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

※ SCITAセンターHPは編集中の為、

<http://yu-steam.amebaownd.com/>でご確認いただけます

申込みQRコード



お問い合わせ

スライムマイスター 養成講座(初級)受講申込書

申込受付期間

2024年10月18日(金)正午～11月22日(金)正午

ふりがな 氏 名	性別	生年月日	所属機関・職名
		年 月 日	
住 所		連絡先	
〒		Tel. FAX E-mail	

応募動機・マイスターを取得したらやってみたいこと

今回の養成講座は何で知りましたか
市報、フリーペーパー、知り合いの紹介 など

スライムって何だろう？
ちょっと勉強してみたい！
自分の子どもに教えたい！
子どもの笑顔を見るのが好き！
という方も大歓迎です！！

※11/30(土)の講座終了後、指導実施講座(スライムイベント表面記載)に参加し、「マイスター活動報告書」を提出して頂きます。11/30の養成講座の受講・スライムのイベントに5回以上参加・活動報告書を提出した方は「スライムマイスター上級」の受講資格を取得できます。

やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局

お問い合わせ

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 山形大学SCITAセンター
TEL: (023)628-4506 FAX: (023)628-4517
E-mail :kagaku-scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

令和6年（2024年）11月7日

「もののあはれ」の世界へようこそ！2 もっと知りたい『源氏物語』」を開講します ～エクステンションぷらす2024winter～

【本件のポイント】

- エクステンションサービス推進本部が主催する、社会人を対象としたセミナーです。今回は、鶴岡工業高等専門学校講師 森木三穂氏を講師として、『源氏物語』についての講座を開催します。
- 全3回のオンデマンド講座では、古典文学『源氏物語』を通して、わかりやすく当時の文化・風習、人の心の普遍性などを学びます。
- 12月7日（土）には、エクステンションぷらすスピノフ企画として、山形大学 小白川キャンパスにて「『源氏物語』とお香」と題した練香づくりのワークショップを行います。

【概要】

NHK 大河ドラマ「光る君へ」の影響も相まって、『源氏物語』を読みたい！という方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。ただ、『源氏物語』は長編作品のため、自分で読むにはなかなかハードルが高いのも事実…。本講座はそのような方を対象に『源氏物語』の名場面をわかりやすい表現と絵画などの視覚的資料を用いながら解説する講座です。前回の講座を受講された方はもちろん、今回から初めて受講される方も大歓迎！今回は光源氏の青春時代と流離・復権を描く巻を取り上げます。また、光源氏を取り巻く女性たちにも注目します。

【講座の構成】※詳細はチラシおよびホームページでご確認ください。

[オンデマンド講座] *全回見逃し配信あり

- | | |
|----------------------------------|--------------------|
| <第1回> 「『源氏物語』入門（あらすじ・紫式部の生涯）」 | 2024年12月 3日（火）配信予定 |
| <第2回> 「『源氏物語』を読む／「簀木巻」「空蝉巻」「夕顔巻」 | 2024年12月 3日（火）配信予定 |
| <第3回> 「『源氏物語』を読む／「花宴巻」「須磨巻」「明石巻」 | 2024年12月10日（火）配信予定 |

【講師】 森木三穂氏（鶴岡工業高等専門学校 創造工学科・講師） 専門：国文学

【受講いただきたい対象】

- ・ 日本の古典文学に関心がある方
- ・ 『源氏物語』に関心がある方

【講座の概要】

◇オンデマンド講座（全3回）

[日時・期間] 第1回は12月 3日（火）、第2回は12月3日（火）、第3回は12月10日（火）にオンデマンド配信を行います。*見逃し配信あり



配布先：学長定例記者会見参加報道機関

〔受講料〕 5,000円（オンデマンド講座 全3回分）

＊お支払い方法は、オンライン決済になります。クレジットカード、コンビニエンスストア、ペイジー、一部ネットバンキングでのお支払いがご利用いただけます。

〔対象〕 一般（高校生以上）

【お申し込み方法】 <https://yex.kj.yamagata-u.ac.jp/genji2.html>

申し込み締め切り：11月26日（火）



オンデマンド講座
お申し込み

スピンオフ企画

「『源氏物語』とお香 ～練香づくりワークショップ」

上記オンデマンド講座に関連して、香りについての講義と実際に自分で練香をつくるワークショップを開催します。

〔日時〕 2024年12月7日（土）13時30分～15時30分

〔会場〕 山形大学小白川キャンパス 人文社会科学部棟1号館101教室

〔講師〕 森木三穂氏

〔受講料〕 8,000円

〔対象〕 一般（高校生以上）

〔定員〕 20名（先着順）

〔詳細・申込〕 <https://yex.kj.yamagata-u.ac.jp/okou-ws.html>

申し込み締め切り：12月2日（月）



ワークショップ
お申し込み

【主催】 山形大学エクステンションサービス推進本部

お問い合わせ

エクステンションサービス推進本部（石黒・大木）

TEL：023-628-4779 メール：yu-extension@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

YEX Yamagata University
Extension service
organization

「もののあはれ」の 世界へようこそ! 2

もっと知りたい『源氏物語』

【開講日時】 ※オンデマンド型配信(見逃し配信あり)

〈第1回〉12月3日(火) 配信予定

〈第2回〉12月3日(火) 配信予定

〈第3回〉12月10日(火) 配信予定

【受講料金】5,000円(全3回分)

古典文学の世界から現代文化を考えてみませんか?

NHK大河ドラマ「光る君へ」の影響も相まって、『源氏物語』を読みたい! という方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。ただ、『源氏物語』は長編作品のため、自分で読むにはなかなかハードルが高いのも事実…。本講座はそのような方を対象に『源氏物語』の名場面をわかりやすい表現と絵画などの視覚的資料を用いながら解説する講座です。前回の講座を受講された方はもちろん、今回から初めて受講される方も大歓迎!

今回は光源氏の青春時代と流離・復権を描く巻を取り上げます。また、光源氏を取り巻く女性たちにも注目します。

- ここがポイント
- ①『源氏物語』の入門編としてわかりやすく解説します。
 - ②当時の文化・風習などを古典文学を通して学べます。
 - ③人の心の普遍性、価値観の変容、多様性の理解に役立ちます。

【各講座内容】

〈第1回〉『源氏物語』入門(あらすじ・紫式部の生涯)

〈第2回〉『源氏物語』を読む／「帚木巻」「空蝉巻」「夕顔巻」

〈第3回〉『源氏物語』を読む／「花宴巻」「須磨巻」「明石巻」



講師／森木三穂氏

(鶴岡工業高等専門学校 創造工学科・講師
専門 国文学)

『源氏物語』に出会ったのは小学生のころ。学習漫画「紫式部」を読み、その世界に魅了された。高校生になり、様々な古典文学と出会った中で心惹かれたのは『和泉式部日記』。平安時代の王朝文学がツボらしい。「京都で古典文学を学びたい!」と大学進学を機に上洛し、古典文学の世界に浸る。現在は古典教育と古典文学のアダプテーション研究に取り組んでいる。

「大学レベルの学問」を楽しく学び、社会で活躍するための知識や考え方を身につけることを目的とした社会人向けのオリジナル講座「エクステンションぶらす」を開講します。日々の仕事や生活に役立つ講座をオンラインで配信。全3回(計5時間)で構成され、時間をかけてしっかりと、そして深く学ぶことができます。自宅にいなから気軽に大学レベルの学びを受けてみませんか? みなさまの受講を心よりお待ちしております。



同時開催 エクステンションぶらす スピンオフ企画

『源氏物語』とお香 練香づくりワークショップ

上記、オンデマンド講座に関連して、香りについての講義と実際に自分で練香をつくるワークショップを開催します。

日時 2024年12月7日(土) 13:30～15:30

講師 森木三穂氏

会場 山形大学小白川キャンパス 人文社会科学部棟1号館101教室

定員 20名

参加費 8,000円(お香セットつき)

申込方法

下記のURLもしくは右記QRコードから、パソコンやスマートフォンで申込受付ページにアクセスをしてください。受講料の支払い方法や、受講方法などを確認の後、専用フォームに必要事項をご記入の上、送信してください。



お申し込みはこちらから

申し込み締め切り: 11月26日(火)

お問い合わせ

山形大学
エクステンションサービス推進本部

TEL. 023 - 628 - 4779

✉ yu-extension@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

🏠 <https://yex.kj.yamagata-u.ac.jp>

まだまだ学び足りない大人達へ、山形大学が贈る新たなカタチの社会人向け講座
エクステンションぶらす 開講!!



「源氏物語絵巻紙帖」梅枝 部分
出典：国立文化財機構所蔵品統合検索システム
<https://bunka.nii.ac.jp/heritages/detail/589419>

エクステンションぷらす スピンオフ企画

『源氏物語』とお香

練香づくりワークショップ

2024

12月7日(土)

13:30 ~ 15:30

参加費：お一人8000円 お香セットつき

会場

山形大学小白川キャンパス

人文社会科学部棟1号館101教室

キャンパス内に駐車場の用意がございません。
お近くのコインパーキングをご利用ください。

定員 20名(先着順)

対象 一般(高校生以上)

『源氏物語』にお香がでてくる場面についての講義を行います。
その後、「六種の薫物」のうち、お香4種(梅花・荷葉・菊花・黒方)を作ります。エフロンのご持参、または、汚れても良い服装でお越しください。

お申し込み

左記のホームページ、もしくはQRコードから、パソコン、スマートフォンで申し込み受付ページにアクセスをし、お申し込みください。

山形大学エクステンションサービス推進本部ホームページ
<https://yex.kj.yamagata-u.ac.jp>

締め切り 十二月二日(月)

* 定員になり次第、申し込みを締め切らせていただきます。
お早めにお申し込みください。



お申し込みはこちら

お問い合わせ

山形大学エクステンションサービス推進本部

電話 023-628-4779

メール yu-extension@kj.yamagata-u.ac.jp

令和6年（2024年）11月7日

「山形に根付く法学の血脈」を開講します

～エクステンションぶらす2024winter～

【本件のポイント】

- エクステンションサービス推進本部が主催する、社会人を対象としたセミナー（全3回オンデマンド講座）です。今回は、本学人文社会科学部 高橋良彰教授を講師として、日本の法学史、そして山形の法学者についての講座を開催します。
- 日本近代法の父と言われるボワソナードが、その生い立ちを糧に、我が国においてどのように法を語り、どのように受け取られたか、概観します。
- ボワソナードから直接に法を学んだ宮城浩蔵と安達峰一郎を通して、日本に法が学問として定着していった過程をたどります。
- 米沢出身の四人の人物(山下千代雄・本間喜一・我妻栄・遠藤浩)を通して、法学のあり方について悩み、考えていった営みについて考察します。



【概要】

エクステンションぶらすは、「大学レベルの学問」を楽しく学び、社会で活躍するための知識や考え方を身につけることを目的とした社会人向けのオリジナル講座です。今回は、最近話題の日本における「近代法」「民法」、そして山形の法学者についての講座を開催します。

日本では、法は単なる技術として受け入れられたわけではなく、学問の一分野として伝えられ、学ばれました。そして、法を学問として学ぶことは、単なる条文の暗記にとどまるものではなく、人間としての生き方について考えることでもありました。

山形にそのような学問としての法が伝えられた経緯をたどりながら、山形出身の法律家たちが近代法を受け入れてきた過程を、健全な批判的精神に裏打ちされた幅広い知識を習得することを目指して検討していきます。

【講座の構成】※詳細はチラシおよびホームページでご確認ください。

[オンデマンド講座] *全回見逃し配信あり

<第1回> 「ボワソナードとその教え子たち」

2024年12月6日（金）配信予定

<第2回> 「宮城浩蔵と安達峰一郎」

2024年12月13日（金）配信予定

<第3回> 「米沢出身の法律家たち」

2024年12月20日（金）配信予定

【講師】 高橋良彰氏（人文社会科学部 教授） 専門：民法（典）史

【受講いただきたい対象】

- ・日本の近代法に関心がある方
- ・日本に法が学問として定着していった過程に関心がある方

【講座の概要】

【日時・期間】 第1回は12月6日（金）、第2回は12月13日（金）、第3回は12月20日（金）にオンデマンド配信を行います（予定）。*見逃し配信あり

【受講料】 5,000円（全3回分）

*お支払い方法は、オンライン決済になります。クレジットカード、コンビニエンスストア、ペイジー、一部ネットバンキングでのお支払いがご利用いただけます。

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

[対象] 一般（高校生以上）

[詳細・申込] <https://yex.kj.yamagata-u.ac.jp/hougaku.html>

申し込み締め切り：11月29日（金）



お申し込みはこちら

【主催】 山形大学エクステンションサービス推進本部

お問い合わせ

エクステンションサービス推進本部（石黒・大木）

TEL：023-628-4779 メール：yu-extension@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

YEX Yamagata University
Extension service
organization

山形に根付く法学の血脈

法に携わる「人」とその学問を考える

【開講日時】

〈第1回〉12月 6日(金) 配信予定

〈第2回〉12月13日(金) 配信予定

〈第3回〉12月20日(金) 配信予定

※オンライン型配信(見逃し配信あり)

【受講料金】5,000円(全3回分)

山形出身の法律家を通して日本の法学をたどる

日本では、法は単なる技術として受け入れられたわけではなく、学問の一分野として伝えられ、学ばれた。そして、法を学問として学ぶことは、単なる条文の暗記にとどまるものではなく、人間としての生き方について考える事でもある。山形にそのような学問としての法が伝えられた経緯をたどりながら、山形出身の法律家たちが近代法を受け入れてきた過程を、健全な批判的精神に裏打ちされた幅広い知識を習得することを目指して検討していきたい。

ここが ポイント

- 1 日本近代法の父と言われるボワソナードが、その生い立ちを糧に、我が国においてどのように法を語り、どのように受け取られたか、概観します。
- 2 ボワソナードから直接に法を学んだ宮城浩蔵と安達峰一郎を通して、日本に法が学問として定着して行った過程をたどります。
- 3 米沢出身の四人の人物(山下千代雄・本間喜一・我妻栄・遠藤浩)を通して、法学のあり方に悩み、考えていった営みについて考察します。

【各講座内容】

〈第1回〉ボワソナードとその教え子たち

〈第2回〉宮城浩蔵と安達峰一郎

〈第3回〉米沢出身の法律家たち



講師／高橋良彰氏
(山形大学 人文社会科学部・教授 専門 民法・民法(典)史)

山形県出身の民法学者です。米沢の高校を卒業し、働きながら大学に通いました。その後、縁あって山形大学に就職し、民法を教えています。法学と関わりと取付き難いと思う人が多いと思いますが、民法についての最近の話題などを織り交ぜながら、法学に触れる機会が持てればと考えています。



「大学レベルの学問」を楽しく学び、社会で活躍するための知識や考え方を身につけることを目的とした社会人向けのオリジナル講座「エクステンションぶらす」を開講します。日々の仕事や生活に役立つ講座をオンラインで配信。全3回(計5時間)で構成され、時間をかけてしっかりと、そして深く学ぶことができます。家で過ごすことが多くなる冬の季節。自宅にいながら気軽に大学レベルの学びを受けてみませんか? みなさまの受講を心よりお待ちしております。



全3回
(計5時間)



■全国どこからでも受講可能な授業形式 (完全オンライン)

約1カ月間に計5時間の講義を全てオンラインで行います(見逃し配信あり)。移動は不要で自宅や職場からアクセスできますので、全国どこからでも受講することができます。

申込方法

下記のURLもしくは右記QRコードから、パソコンやスマートフォンで申込受付ページにアクセスをしてください。受講料の支払い方法や、受講方法などをご確認の後、専用フォームに必要事項をご記入の上、送信してください。



お申込み締め切り：11月29日(金)

お申し込みはこちら

お問い合わせ

山形大学
エクステンションサービス推進本部

TEL. 023 - 628 - 4779

✉ yu-extension@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

🌐 <https://www.y-ex.jp/>

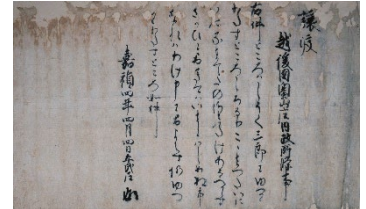
まだまだ学び足りない大人達へ、山形大学が贈る新たなカタチの社会人向け講座
エクステンションぶらす 開講!!

令和6年（2024年）11月7日

「文字！もじ！モジ！～文字とはなにものぞ～」 ～文字はもじでもモジではない！文字から日本文化の特性について考える企画展～

【本件のポイント】

- 山形大学中央図書館所蔵の重要文化財「中条家文書」から貴重な女性の書いた古文書3点と当館館長所蔵の古文書・掛け軸など6点（全9点）を山形大学附属博物館で展示中。
- 中条家文書の津村尼譲状、源氏女（佐々木加地秀定女）申状、きた女売券は平成5年以来久しぶりの展示です。館長所蔵史料は初展示です。
- 11月16日（土）に本展を監修した大喜直彦教授による「展示解説会＆歴史の集い」を行います。



津村尼譲状

【概要】

一昨年度より、大河ドラマや漫画・アニメーションで注目を集める人物に焦点を当て、関連する古文書を紹介してきました。今年度は大河ドラマに「源氏物語」が取り上げられたことから、「ひらがな」や「女性の文字」に着目し、中条家文書より女性の書いた文書3点を展示します。また、当館館長所蔵のひらがな文書、信仰にかかわる文字の掛け軸など6点を併せて展示します。

鎌倉時代から江戸時代までひらがなやカタカナが社会の中でどう使われていたか、文字が読めない人々に文字がどう見えていたかなど、「文字とはなににか」を考えることを目的とした企画展です。

【背景】

山形大学が所蔵する「中条家文書」は、昭和47年（1972）に中条敦氏により本学に譲与され、平成4年（1992）にはそのうちの233通が重要文化財に指定されました。

中条氏は相模国三浦半島の有力者、和田一族を出自としています。鎌倉時代から連綿と続く名族であり、中条家に伝来した文書群は中世越後国の戦乱や土地支配・一族の相克を映し出す貴重な史料群となっています。

一昨年度より、大河ドラマや漫画・アニメーションで注目を集める人物に焦点を当て、関連する古文書を紹介してきました。今年度は大河ドラマに「源氏物語」が取り上げられたことから、「ひらがな」や「女性の文字」に着目し、同家文書より女性の書いた文書3点を展示します。また、当館館長所蔵のひらがな文書、信仰にかかわる文字の掛け軸など6点を併せて展示します。

写真の「津村尼譲状」は和田宗実（和田義盛弟）の娘が所領を息子に譲り渡すことを記した文書です。鎌倉時代の女性のひらがな文字であり、珍しい女性の花押があります。当時、女性が夫の死後も一族と所領を取り仕切っていた姿を知ることができる貴重な資料です。

【関連企画】

● 展示解説会＆歴史の集い

講 師：大喜直彦（山形大学学術研究院教授 地域教育文化学部担当）

日 時：11月16日（土）13時30分～15時00分

定 員：15名（先着順）

申込方法：下記フォームかお電話（023-628-4930）にて受付

<https://forms.office.com/r/w09HTiMCRm>

締め切り：11月14日（木）

お問い合わせ

学術情報部学術情報課／山形大学附属博物館（押野）

TEL 023-628-4930 メール yu-hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

●ギャラリートーク

講 師：大喜直彦（山形大学学術研究院教授 地域教育文化学部担当）

日 時：11 月 12 日（火）、12 月 3 日（火）18 時 00 分～18 時 30 分

対 面：申込不要・定員なし

オンライン（Zoom）：下記のアドレス、ID よりお入りください

<https://zoom.us/j/92998279251?pwd=t23Da2Yamwyu50sfquvCSVAffwDKVV.1>

《ミーティング ID：929 9827 9251》

《パスコード：659525》

令和6年(2024年) #月#日

第7回学びのフォーラムを開催します —今年度で10年目になりました—

【本件のポイント】

- ・11月30日(土)、12月8日(日)、12月15日(日)の3日間にわたって、山形大学大学院教育実践研究科「学びのフォーラム」を開催します。
- ・「学びのフォーラム」は、高校生、大学生、社会人が、「学ぶとはどういうことか」について共に探究するプログラムです。
- ・2015年度から始めた本企画は、2020年度には文部科学省の調査研究事業にも採択され、今年度で10年目となります。フォーラムで学んだ高校生が教師になり、このフォーラムに戻ってきています。
- ・昨年度は、県内11校と県外からも参加いただきました。今年度も、多くのみなさまの参加をお待ちしています。



【概要】

11月30日(土)、12月8日(日)、12月15日(日)の3日間にわたって、山形大学大学院教育実践研究科「学びのフォーラム」を開催します。山形大学大学院教育実践研究科「学びのフォーラム」は、高校生、大学生、社会人が、「学ぶとはどういうことか」について共に探究するプログラムです。昨年度に引き続き、オンライン・対面のハイブリッド型による開催です。12月15日(日)(小白川キャンパス会場)には、これまでと同様、本フォーラムのテキスト『「わかり方」の探究』の著者である東京大学名誉教授佐伯胖氏も参加します。佐伯胖氏には、議論の過程に参加すると同時に、学びに関する様々な話題を提供していただきます。

現在、すでに申し込みの受付を開始しています。締め切りは、11月27日(水)です。申し込み用ページは、<https://forms.office.com/r/k4yyNzUppP>です。チラシのQRコードからもアクセスできます。

「学びのフォーラム」のこれまでの歩みについては、山形大学「教職の魅力創造プロジェクト」ホームページ<https://www.gs2.e.yamagata-u.ac.jp/>の「学びのフォーラム」のページをご覧ください。

●日時及び会場

第1回 11月30日(土) 小白川キャンパス中央図書館ラーニングコモンズ

第2回 12月8日(日) 小白川キャンパス中央図書館ラーニングコモンズ

第3回 12月15日(日) 小白川キャンパス中央図書館ラーニングコモンズ

※3回すべてでZoomを使ったオンラインでも参加可能です。

●参加費

無料

●申し込み受付期限

11月27日(水)

●内容

第1回 「できる」とはどういうことか コーディネーター 山形大学准教授 森田智幸

第2回 「考える」とはどういうことか コーディネーター 山形大学准教授 森田智幸

第3回 「遊ぶ」ということの意味 コーディネーター 山形大学准教授 森田智幸

話題提供 東京大学名誉教授 佐伯胖氏

お問い合わせ

山形大学小白川キャンパス事務部総務課(地域教育文化学部担当)

TEL 023-628-4304 メール yu-kyosoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学大学院教育実践研究科 第7回 合同ゼミナール 学びのフオーラム 学びから教育を問い続ける



第1回 11月30日(土)

13時15分～16時45分
「できる」とはということか

会場：山形大学小白川キャンパス中央図書館
担当教員：森田智幸(山形大学准教授)

対面・オンライン
ハイブリッド開催

第2回 12月8日(日)

13時15分～16時45分
「考える」とはということか

会場：山形大学小白川キャンパス中央図書館
担当教員：森田智幸(山形大学准教授)



第3回 12月15日(日)

13時15分～16時45分
「遊ぶ」ということの意味

会場：山形大学小白川キャンパス中央図書館



主催
山形大学大学院
教育実践研究科



後援
山形県教育委員会



これまでのあゆみは
こちらからご覧ください。

担当教員：森田智幸
(山形大学准教授)

助言・話題提供：佐伯 胖 氏
(東京大学名誉教授)



企画 の 趣旨

山形大学大学院教育実践研究科では、平成27年度から、広く市民とともに地域の学びについて考える場を創出することを目的として、高校生と大学生、社会人による合同ゼミナールを行ってきました。

そもそも学ぶとはどのようなことなのでしょう。あなたならどのように答えますか。このゼミでは、この問いに対する答えを共に探究します。方法は、共通する文献を読み、議論するというシンプルなものですよ。

それぞれの立場から、一旦立ち止まって、教育、学びという営みを根源から問い直す場となることを目指しています。 高校生のみなさんには、大学での学びを体験し、また、教師を目指す大学生や現役教師の生の声を聴くことができる場となります。

たくさんの方々の参加をお待ちしております。

申込 方法

◆参加費は無料です。

◆参加を希望する方は、右記申し込み用QRコード、または、申し込み用URLより「申し込みページ」にアクセスし、必要事項を記入の上、送信してください。オンライン参加を希望される方には、後日、入力していただいたメールアドレス宛に参加方法をお知らせします。

申し込み用ページはこちら



◆申し込みの締め切りは11月27日(水)です。 <https://forms.office.com/r/k4yyNzUppP>

問い合わせ先

山形大学小白川キャンパス事務部総務課(地域教育文化学部担当)

E-mail: yu-kyosoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

TEL: 023(628)4304

※土、日曜日の電話は繋がりません。メールにてご連絡ください。

※お問い合わせの際は、「氏名、所属」を必ず明記してください。

※@jm.kj.yamagata-u.ac.jpからのメールを受信できるように設定をお願いします。

当日 について

●各回、12時15分から受付を開始します。

●服装は自由です。

●使用するテキストはこちらで用意します。昨年度までに本企画に参加したことがある方はテキストを持参してください。

●ご来場の際には、できる限り公共交通機関をご利用ください。

お車でお越しの際は近くの有料駐車場をご利用ください。

主な大学付近の有料駐車場は以下の通りです。

- ・システムパーク山形大学前
- ・タイムズ山形大学前
- ・パラカ山形大学野球場西側駐車場
- ・パラカ山形市東原第一

●オンライン会場はZoomを使用します。Zoomアプリのダウンロードや、通信環境の確認等、前日までに参加者各自でご準備ください。通信料金の負担等を含め、主催者が対応することはできません。